

令和6年度

大和の教育

大和市教育局

大 和 市 民 憲 章

自然と人間との健全な調和のとれた大和市の輝かしい未来を目ざして、わたくしたちは、大和市民としての自覚と誇りをもって、市民ひとりひとりのしあわせを願いながら、ここに市民憲章を定めます。

1. みんなで力をあわせて、
若さと明るさにあふれたまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
友情としあわせにつつまれたまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
教養と文化の豊かなまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
自然と環境の美しいまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
きまりと平和を守るまちをつくりましょう。

昭和 54 年 2 月 1 日制定

大和市教育目標

わたくしたち大和市民は、文化の香り高い、活力ある大和市づくりを目指している。そのためには、「人間尊重の精神」を基盤としなければならない。

その基盤の上に、自分をしっかりと持ち、他の人々と連帯できる創造性豊かな人間として自己を磨き伸ばしていくことが求められる。

- 心身ともに健康な人
- 自立心を持つ人
- 学び続ける意欲を持つ人
- 思いやりの心を持つ人
- 自然を大切にする人
- 愛情と信頼に結ばれた家庭づくりをする人
- 近隣の人たちと共に生きる人
- 豊かな文化をはぐくむ人
- 国際社会の一員として行動できる人

平成元年4月1日制定

社会教育の基本目標

社会構造の成熟化により、人々の学習への関心や要求は多様化し、内容も高度・専門化している。また活動の場は、時間的にも空間的にも拡大している。

こうした背景から生まれた生涯学習社会において、社会教育は大変重要な役割を占め、その期待はますます大きくなってきている。

そこで、家庭・学校・地域社会の総合的な協力・連携を図り、学習機会の拡充・学習活動への支援など、社会教育活動の推進を積極的に展開する必要がある。

そのためには「大和市教育目標」を基盤に、

- (1) 健康で明るく、愛情に満ちた家庭を築く
- (2) 豊かな心を持ち、ゆとりある地域づくりに参加する
- (3) 平和を愛し、国際的な視野を身につける
- (4) 自然とふれあい、うるおいある文化を育む
- (5) 楽しく学び、人生に生きがいを持つ

など、主体的に行動できる人間形成をめざすことを目標とする。

平成4年4月14日制定

大和市の宣言

明るくたくましい青少年が育つ都市宣言

大和市のあすをにない、友愛にみちた住みよい社会を築くのは青少年である。

青少年が自己の行動に自覚と責任をもち、心身ともに明るくたくましく成長することは、すべての市民の願いである。

この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校をはじめ地域社会が一体となり、市民の総力をあげて青少年育成の施策を推進することを決意し、ここに大和市を「明るくたくましい青少年が育つ都市」とすることを宣言する。

昭和 57 年 4 月 1 日制定

大和 市 平 和 都 市 宣 言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、地球上では依然として武力紛争が絶え間なく続き、際限のない軍備拡大は核軍備の増強をも招来し、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

大和市は、常にわが国の国是である「持たず、造らず、持ち込ませず」の非核三原則が厳正に遵守されることを願い、すべての国の核兵器の廃絶と軍縮を全世界に強く訴えるとともに、人類の永遠の平和を希求し、真の恒久平和を実現するため、ここに平和都市となることを宣言する。

昭和 60 年 9 月 19 日制定

「 環 境 立 市 大 和 」 宣 言

太古より人類は 自然を愛し 自然の恵みに感謝し 自然と共に栄えてきました

大和市は 人と自然が共生し 良好な環境を確保するため 「大和市環境を守り育てる基本条例」を制定し環境問題に積極的に取り組んでいます

都市としての発展による環境問題は 依然として深刻です
環境問題の解決には 私たち一人ひとりが日々の生活の中で 環境について見つめ直し 環境を思いやる心をはぐくみ 広めていくことが重要と考えています

大和の快適な環境づくりを推進していくため 環境について学び 知り 考え そして環境に配慮できる人間の育成と更なる環境保全施策の展開を誓い ここに「環境立市 大和」を宣言します

平成 16 年 4 月 22 日

「健康都市 やまと」宣言

健康は、日々の生活の基本であり、幸福を追求するために、とても大切なものです。

都市で生活するわたしたち市民が、生き生きと暮らすためには、保健、福祉、医療などを通じて「人の健康」を守るとともに、安全で快適な都市環境が整う「まちの健康」、人と人とのあたたかな関係に支えられる「社会の健康」を育てていくことが重要です。

大和市は、市民一人ひとりの健康な生活の実現に向けた取り組みを進め、「健康都市」を目指すことを宣言します。

平成 21 年 2 月 1 日

「認知症 1 万人時代に備えるまち やまと」宣言

超高齢社会を迎え、認知症になる人は急激に増加しており、大和市においても近い将来、その数は、1 万人を超えるものと予測されます。

これからは、誰もが認知症にかかわる可能性があり、あらゆる世代、立場の人が協力しあい、認知症の人への理解を深め、その想いに寄り添っていくことが大切です。

大和市は、認知症の人が住み慣れた地域で、人と人とのつながりを育みながら、自分らしく、安心して暮らし続けられるよう、様々な取り組みを進め、認知症 1 万人時代に備えます。

平成 28 年 9 月 15 日

「70 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

「人生 100 年時代」を迎える超高齢社会では、一般に 65 歳以上を高齢者とする固定観念を変えていくことが必要です。

年齢を重ねても、自らの健康を維持し、自立した生活を送れるよう努めている方、豊かな知識と経験を生かし、様々な役割を果たしている方など、一人ひとりが大和のかけがえのない存在です。

支えを必要とする方には手を差し伸べながら、この世代の方々が、個々の意欲や能力に応じて、いつまでも生き生きと活躍していただきたいと考え、「70 歳代を高齢者と言わない」ことを宣言します。

平成 30 年 4 月 11 日

大和市気候非常事態宣言

近年の世界的な気候変動は、記録的な猛暑、大型台風、集中豪雨の頻発など、もはや危機と呼ぶべき域に達しています。

この要因とされる地球温暖化について、我が国をはじめとする世界各国は、2015年のパリ協定以来、温室効果ガス排出量の削減について目標を掲げ取組を進めてきましたが、一刻の猶予も許さぬ地球温暖化の進行の中、より一層の削減強化を表明しているところです。

地球温暖化による危機を乗り越え、生命あふれる地球と大和を未来へとつないでいくため、今この時代に生きる私たち一人ひとりが具体的かつ持続的に行動することが必要です。

本市は、人にも環境にも優しい持続可能なまちづくりを進め、2050年度までの温室効果ガス排出量実質ゼロの実現を市民、事業者、国及び他自治体などと密接に連携・協力しながら目指すとともに、地球温暖化の中で生じ得る影響から市民を守る施策をより一層推進することを決意し、ここに気候非常事態を宣言します。

令和4年4月1日

目 次

大和市民憲章
大和市教育局・社会教育の基本目標
明るくたくましい青少年が育つ都市宣言
大和市平和都市宣言
「環境立市 大和」宣言
「健康都市 やまと」宣言
「認知症1万人時代に備えるまち やまと」宣言
「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言
「大和市気候非常事態」宣言

大和市の概要	9
(1) 沿革	
(2) 地勢・位置	
(3) 人口・世帯	

教育行財政

13

1. 教育委員会	15
(1) 教育長・委員	
(2) 会議	
(3) 教育委員会表彰	
2. 事務局等	19
(1) 組織図	
(2) 事務分掌	
(3) 所属別・職名別職員一覧表	
3. 大和市の教育振興基本計画	25
4. 令和6年度 教育に係る当初予算	27
5. 教育費	28
(1) 一般会計決算額と教育費決算額の推移	
(2) 教育費目的別決算額の推移	
(3) 教育費性質別決算額の推移	

学校教育

31

1. 市立学校一覧	34
2. 学校施設の状況	35
3. 保有教室の内訳	36
4. 学校施設の整備状況	37
(1) 校舎等の防音工事	
(2) 耐震補強工事	
(3) 非構造部材の耐震化工事	
(4) 校舎等の増築工事	
(5) 体育館の建替工事	
5. 教育指導	39
(1) 学校訪問	
(2) 研修	

(3) 研究	
(4) 国際教育	
(5) 学校への助成等	
6. 児童・生徒及び教職員の推移 -----	48
(1) 最近5ヶ年の小・中学校別児童生徒数	
(2) 年度別学校職員定数	
(3) 教員の年齢別・男女別一覧	
7. 特別支援学級 -----	51
8. 進路状況 -----	51
9. 日本スポーツ振興センター -----	52
(1) 掛金等の状況	
(2) 災害発生状況	
10. 就学援助及び特別支援教育就学奨励 -----	54
11. 学校給食 -----	55
(1) 調理方式別による学校数	
(2) 学校給食の内容	
(3) 単独調理校	
(4) 学校給食共同調理場	
(5) 職員構成	
(6) 学校給食運営組織図	
(7) 食数	
(8) 学校給食優良校	
12. 教育研究所 -----	60
(1) 調査研究事業	
(2) 研修事業	
(3) 教育の情報化に関する事業	
(4) 理科・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業	
(5) 教育資料に関する事業	
13. 青少年相談室 -----	70
(1) 青少年相談員の活動	
(2) 街頭補導の実施状況	
(3) 青少年相談室の活動	
(4) 青少年相談室の相談受理状況（電話相談・来室相談）	
(5) 県費スクールカウンセラーの派遣と不登校児童生徒支援員の配置	
(6) 教育支援教室「まほろば教室」	
(7) 引地台中学校分教室	
生涯学習 -----	79
社会教育委員 -----	81
生涯学習・社会教育等関連施設 -----	83
○ 文化振興課＜文化財保護＞ -----	85
1. 文化財保護審議会	
2. 文化財保護指導委員	
3. 文化財保護事業	
○ スポーツ課 -----	101

1.	体育関係団体の育成	
2.	スポーツ活動の活性化	
3.	スポーツ行事・教室の開催	
4.	スポーツ水準の向上	
5.	体育施設	
○	図書館	123
1.	図書館サービス	
2.	学習センター図書室との連携	
3.	団体貸出事業の推進	
4.	健康都市図書館	
○	生涯学習センター	137
	令和5年度学習センターの利用状況（年間）	139
1.	生涯学習	
2.	図書・学び交流課学び交流係	
3.	生涯学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
4.	つきみ野学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
5.	北部文化・スポーツ・子育てセンター：市民交流拠点ポラリス（指定管理者：やまとみらい）	
6.	桜丘学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
7.	渋谷学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
8.	学習センター図書室	
9.	健康都市大学事業	
○	青少年センター	199
1.	子ども活動の場づくり	
2.	青少年企画運営イベント	
3.	子どもの体験機会提供	
4.	青少年育成団体活動	
5.	学校・地域・家庭の連携推進	
6.	集計（参考）	
○	その他事業	219
	文化振興課＜文化芸術の振興＞	221
	公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団	229
1.	スポーツを通じた心身の健全な育成を目的とする事業の企画及び実施	
2.	文化芸術を振興するための情報発信と活動機会の提供及び協働事業の開催	
3.	地域交流と社会貢献を主たる目的とするスポーツ、文化芸術及び緑化推進に関する活動拠点の管理運営及び整備	
	付 録	239
	教育施設一覧	241
	教育年表	250
	歴代教育委員会教育長・委員	260

大和市の概要

(1) 沿革

◇原始・古代（紀元前～12世紀中頃）

大和市内における最古の人類の足跡は、今から約3万5千年前の旧石器時代（先土器時代）の遺跡で確認されています。市域を流れる引地川、境川に沿った台地上には遺跡が点在し、発掘された石器類は質・量ともに高い評価を得ています。数多くの石器類からは、当時の人々が狩猟中心の生活をしてきたことがうかがわれます。

約1万5千年前、縄文時代になると、気候が温暖化し、動植物なども豊かになり、土器を使い始めた人々は生活が安定し、堅穴式住居に住むようになりました。市内には縄文時代草創期の遺跡があり、日本最古期の土器片や草創期の土器などが出土しています。

古代の市域は大半が相模国高座郡深見郷に含まれていました。平安時代の中頃に編さんされた「延喜式」の神名帳には、相模国の延喜式内社十三座の一つに深見神社が数えられています。また、10世紀頃の堅穴式住居跡からは、当時の有力者との関連を思わせる石帯や硯などが出土しています。

◇中世（12世紀中頃～16世紀中頃）

鎌倉に幕府が開かれた頃、市の南部域は渋谷重国の治める渋谷庄に含まれていたと考えられます。室町時代には市域の鶴間郷が足利直義の領地となり、正平7年（1352年）には南宗継が足利尊氏から市域の和田郷、深見郷の地頭職を与えられました。その後、戦国時代には小田原北条氏が相模国を支配し、市域はその家臣たちによって治められていました。その頃、保田筑後守など9人（福田開拓九人衆）が今の福田地域に土着して開墾しています。

古道として知られている滝山街道は、小田原城の重要な支城である玉縄城（鎌倉市）と滝山城（八王子市）を結び、境川沿いにある下鶴間、深見、上和田の城郭址にも近く、小田原北条氏の領国支配上重要な道の一つとされています。

◇近世（16世紀中頃～19世紀中頃）

天正18年（1590年）、徳川家康が関東に入国。この頃、市域の村は下鶴間村、深見村、上和田村、下和田村、福田村の5か村で、後に深見村から草柳村が分村し、さらに上・下草柳村に分かれました。

各村ごとに検地が行われ、領主に納める年貢の基準となる石高（米穀の生産高）が決められました。また、宗門人別帳の作成などにより、戸数・人口などが調べられ、近世農村としての基礎が固められました。江戸時代後期・文政年間の市域の戸数は646戸と記されています。

大山参りの道として利用された矢倉沢往還の宿駅の一つである下鶴間宿には旅籠や茶店などがあり、天保2年（1831年）9月、渡辺華山がこの宿に1泊し、付近のようすを「游相日記」に書き留めています。また、当時の商家の一軒が下鶴間ふるさと館として現地に復原、保存されています。

◇近代・現代（19世紀中頃以降）

明治時代以降、神奈川県内の町村は目まぐるしく転換します。市域は明治4年（1871年）、廃藩置県後に神奈川県に所属しました。明治6年（1873年）に行政区画として区・番組制が施行されて以来、2度の地方制度の変遷を経て、明治22年（1889年）に現在の行政区画の基礎となる町村制が施行され、

下鶴間村、深見村、上草柳村、下草柳村が合併して鶴見村に、上和田村、下和田村、福田村は、長後村、高倉村と合併して渋谷村になりました。

その後、鶴見村では分村問題が発生し、それを收拾するため明治24年（1891年）9月、「大いなる和」の願いをこめて村名を大和村と改称。ここに「大和」の名称が誕生しました。

大正15年（1926年）5月に神中鉄道（現在の相模鉄道本線）、昭和4年（1929年）4月には小田原急行鉄道江ノ島線（現在の小田急江ノ島線）が開通したことにより、市域は農村から都市へと姿を変えていきます。昭和17年（1942年）、現在の厚木基地に海軍航空隊が、昭和18年（1943年）には高座海軍工廠の関連施設が設置され軍都の色彩を濃くしていく中で、同年11月3日に大和村が、昭和19年（1944年）11月3日には渋谷村がそれぞれ町制を施行しました。

昭和20年（1945年）、終戦を迎え、連合軍最高司令官マッカーサー元帥が厚木飛行場に到着。後に同飛行場は米国海軍厚木航空基地となり、基地機能の強化などにより町の様相が大きく変わりました。

昭和30年（1955年）4月、渋谷町の長後、高倉が藤沢市に編入し、福田、上和田、下和田が渋谷村となり、昭和31年（1956年）9月、大和町に渋谷村が合併、昭和34年（1959年）2月1日に県内14番目の市として市制を施行しました。

昭和40年代から市内各所で土地区画整理事業が実施され、昭和45年（1970年）5月には人口が10万人に達しました。昭和51年（1976年）に東急田園都市線がつきみ野駅まで開通し、昭和59年（1984年）には同線が中央林間駅と接続しました。

平成元年（1989年）2月1日には市制施行30周年を迎え、県内の中堅都市として発展を続け、平成12年（2000年）11月1日には、全国初の特例市（現在は施行時特例市）へ移行しました。

(2) 地勢・位置

大和市は神奈川県のおおぼ中央部に位置し、都心から40キロメートル圏内にあります。市域は南北に細長く、丘陵起伏がほとんどありません。

鉄道は市の中央部を東西に相模鉄道本線、南北に小田急江ノ島線が走り、北部には東急田園都市線が乗り入れ、市域に8駅があります。また道路網も国道246号線や国道467号線のほか、県道4線が縦横に走り、東名高速道路横浜町田インターチェンジや海老名ジャンクションにも近いなど、交通の利便性に恵まれています。

東端	東経	139° 28' 50"	南端	北緯	35° 25' 23"
西端	東経	139° 25' 45"	北端	北緯	35° 31' 14"

海拔	市役所位置	66.8m	面積	27.09km ²
	最高	91.149m	東西	3.22km
	最低	28.328m	南北	9.79km

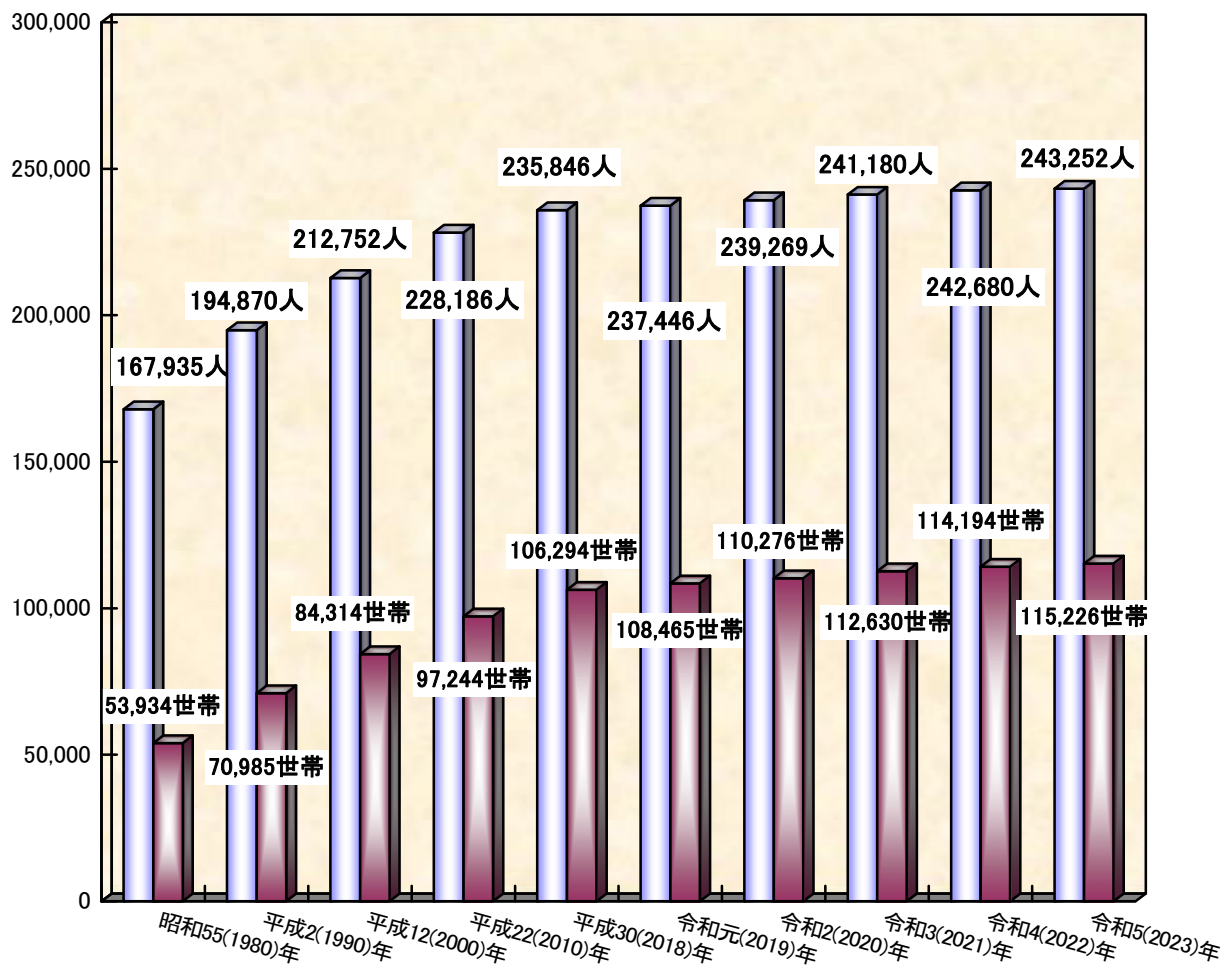
(3) 人口・世帯

令和6年5月1日現在

○人口	243,902人	○世帯	116,560世帯
○人口密度	9,003人/km ²		

□人口 □世帯

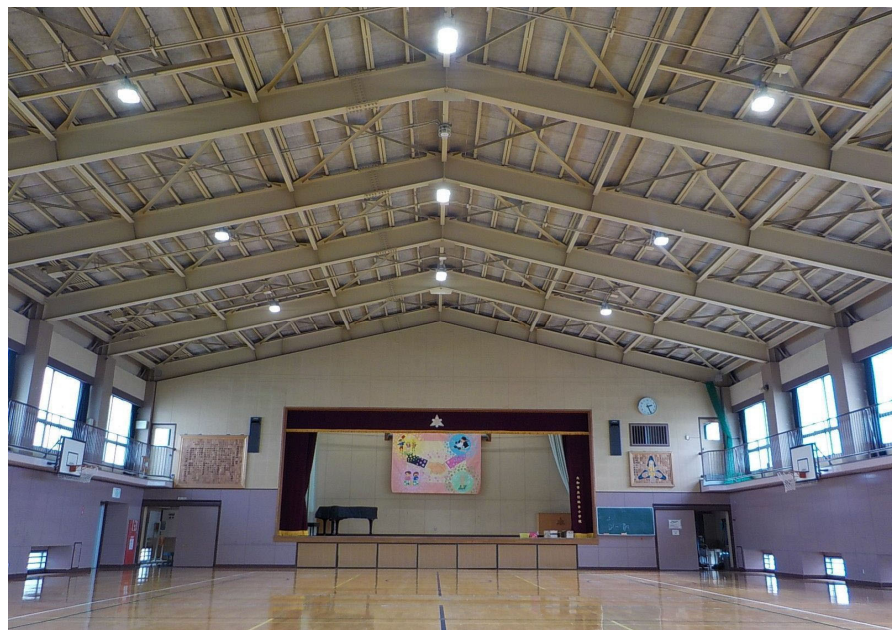
人口・世帯の推移(各年10月1日現在)



教育行財政



深見小学校屋上外壁改修工事



引地台小学校体育館照明改修工事

教育委員会

(1) 教育長・委員



教 育 長
柿 本 隆 夫



教育長職務代理者
青 蔭 文 雄



委 員
森 園 廣 子



委 員
前 田 良 行



委 員
及 川 紀 子

教 育 長 ・ 委 員 名 簿

令和 6 年 5 月 1 日現在

職 名	氏 名	発 令 年 月 日	満了年月日	備 考
教 育 長	柿 本 隆 夫	H27. 10. 01 (当初) (委員当初 H26. 10. 01)	R06. 09. 30	※新教育長 3 期目 (教育長 4 期目)
教 育 長 職 務 代 理 者	青 蔭 文 雄	H20. 12. 09 (当初)	R06. 12. 08	委員 4 期目
委 員	森 園 廣 子	H29. 10. 01 (当初)	R07. 09. 30	委員 2 期目
委 員	前 田 良 行	H30. 12. 21 (当初)	R08. 12. 20	委員 2 期目
委 員	及 川 紀 子	R02. 12. 09	R06. 12. 08	委員 1 期目

※教育長は、旧制度に基づく委員としての任期満了に伴い、平成 27 年 10 月 1 日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 76 号）に基づく新たな教育長として任命されました。

現教育長及び委員の任命は次のとおりです。

柿本隆夫 旧制度による教育長
平成26年10月1日～平成27年9月30日
新制度による教育長
平成27年10月1日～平成30年9月30日
平成30年10月1日～令和3年9月30日
令和3年10月1日～現在

青蔭文雄 平成20年12月9日～平成24年12月8日
平成24年12月9日～平成28年12月8日
平成28年12月9日～令和2年12月8日
令和2年12月9日～現在
(委員長 平成22年10月1日～平成24年9月30日
平成26年1月1日～平成27年9月30日)

森園廣子 平成29年10月1日～令和3年9月30日
令和3年10月1日～現在

前田良行 平成30年12月21日～令和4年12月20日
令和4年12月21日～現在

及川紀子 令和2年12月9日～現在

(2) 会議

会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会・協議会を開催します。

○教育委員会会議等の開催状況

年度 会議の別	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
定例会	12	12	12	12	12
臨時会	1	2	1	0	0
協議会	14	13	13	13	12

※ 教育委員会定例会の議案及び会議録は、市のホームページでご覧いただけます。

年度 議決事項	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
条例・規則	17	3	5	10	5
陳情・請願等	0	0	0	1	0
人事	7	6	5	3	5
予算・決算	4	6	4	4	5
報告	2	5	4	7	6
その他	26	20	16	12	17
合計	56	40	34	37	38

(3) 教育委員会表彰

昭和44年に制定された教育委員会表彰規程に基づき、本市の教育文化の向上のために尽力された個人及び団体の功績を称えるため、原則として毎年2月の最終日曜日に表彰しています。

表彰を受けた教育功労者は、次のとおりです。

(順不同、敬称略)

教育委員会表彰教育功労者

【功労表彰（19名）】

令和6年2月25日

氏名	事績
下田 深香	本市子ども会連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
東 日出夫	本市子ども会連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
國分 佳子	本市母親クラブ連絡協議会の役員等として青少年の健全育成に寄与されました
小島 恵美子	本市母親クラブ連絡協議会の役員等として青少年の健全育成に寄与されました
武蔵 和子	本市母親クラブ連絡協議会の役員等として青少年の健全育成に寄与されました
二俣 晃治	本市PTA連絡協議会として社会教育の振興発展に寄与されました
福村 美知留	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
務基 文彦	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
木村 勢子	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
吉川 剛	本市青少年相談員として青少年の健全育成に寄与されました
吉谷 和美	本市青少年相談員として青少年の健全育成に寄与されました
深澤 良祐	本市青少年指導員として青少年の健全育成に寄与されました
大形 淳子	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
林 克憲	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
佐藤 恵美子	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
六田 明美	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
柏井 良文	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
半田 彩	本市立学校の学校薬剤師として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
やまとアートシャ ベル	本市学校教育振興団体として学校教育の振興発展に寄与されました

【功績表彰（16名）】

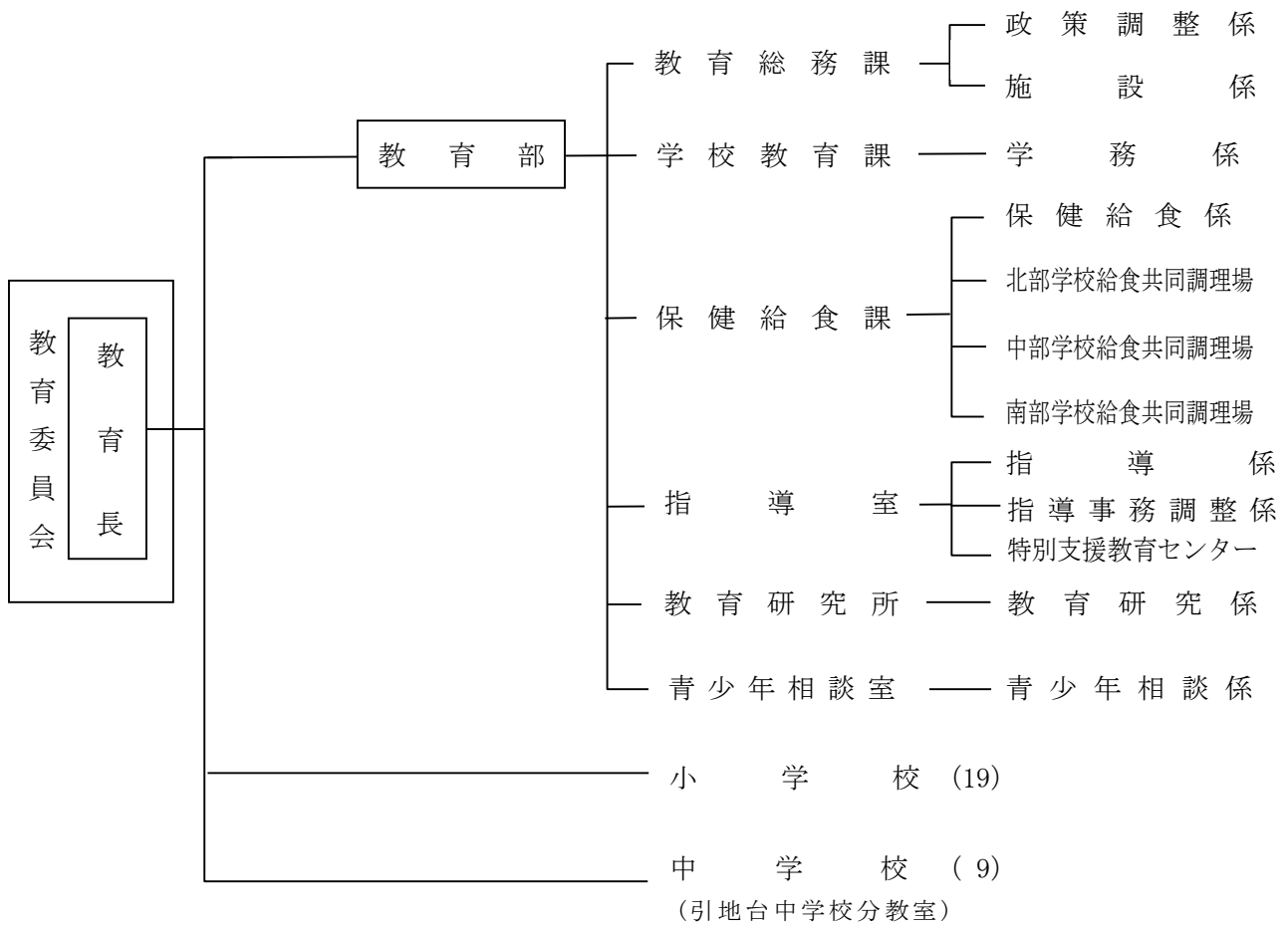
令和6年2月25日

氏名	事績
有馬 勝正	令和5年度全日本シニアソフトテニス選手権大会 シニア男子75 第3位
石川 陽翔	2023年少林寺拳法世界大会 in Tokyo, Japan アンダー8 組演武 優秀賞
金子 拳也	第11回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会 小学3年生男子軽量 準優勝
河越 まりな	第9回関東中学生少林寺拳法オープン大会 女子自由単独演武・茶黒帯の部 優勝
岸本 淳志	第22回全国体操小学生大会 個人総合 金賞
佐々木 航	令和5年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会 男子+102kg級 準優勝
佐野 光琉	カラテドリームフェスティバル2023 全国大会 中学3年生男子 中量級（58kg未満） 第3位
高橋 千夏	第11回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会 混合ダブルス 準優勝
樋口 亘	2023年少林寺拳法世界大会 in Tokyo, Japan アンダー8 組演武 優秀賞
平井 瑞希	第99回日本選手権水泳大会 女子50mバタフライ 第3位 世界ジュニア水泳選手権2023 女子50mバタフライ 第3位 女子100mバタフライ 第3位
松岡 大和	JKJ0 全日本ジュニア空手道選手権大会 中学校2～3年男子47kg未満の部 第3位
屋比久 桜ノ介	第11回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会 幼年（男女混合） 準優勝
佐藤 直哉	第24回NHK全国俳句大会 特選作品自由題第一席
大和シルフィード98	JFA第34回全日本O-30女子サッカー大会 1位トーナメント 準優勝
大和ファルコン（実年）	第17回東日本ミズノ杯実年ソフトボール大会 ブロック1位トーナメント 優勝
大和ホワイトガールズ	第33回関東小学生選抜男女ソフトボール大会 女子 準優勝

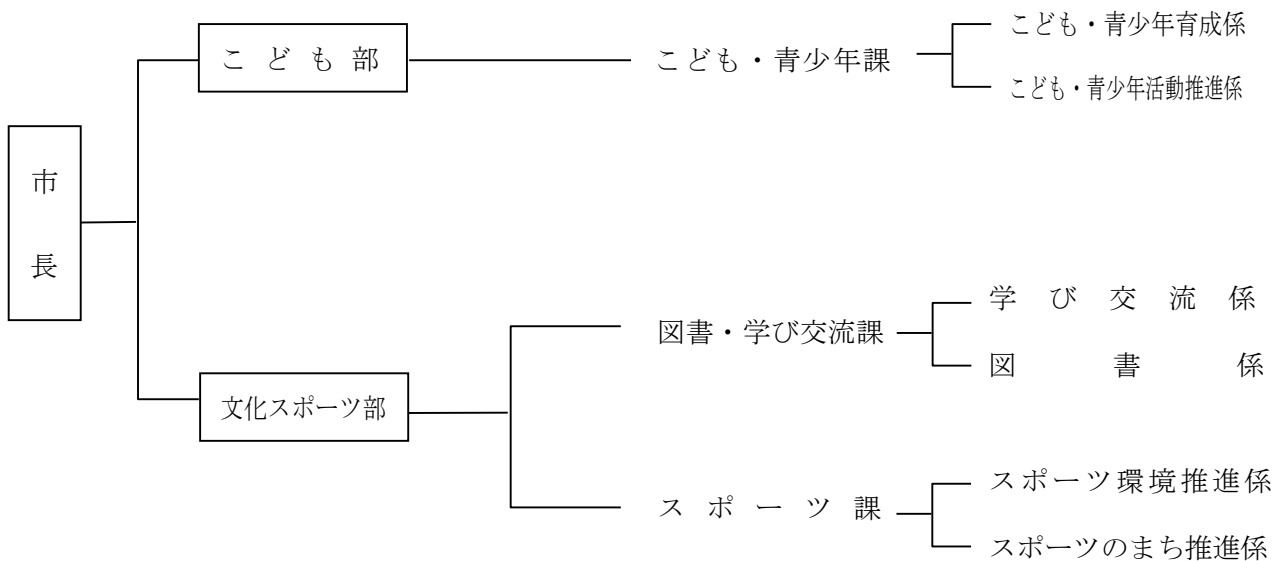
2. 事務局等

(1) 組織図

(令和6年4月1日現在)



(以下、大和市教育委員会の権限に属する事務を補助執行する部局を参考として掲載)



教育部

教育総務課

- ① 教育委員会の会議に関する事。
- ② 教育委員会の秘書及び交際に関する事。
- ③ 教育委員会の儀式及び表彰に関する事。
- ④ 教育行政の総合的企画及び調整に関する事。
- ⑤ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事。
- ⑥ 事務局、学校及び所管機関の職員（県費負担教職員（以下「教職員」という。）を除く。）の人事及び給与に関する事。
- ⑦ 非常勤特別職職員の委嘱及び解嘱に関する事。
- ⑧ 公印の管理に関する事。
- ⑨ 法制に関する事。
- ⑩ 例規に関する事。
- ⑪ 行政文書の公開に関する事。
- ⑫ 個人情報の保護に関する事。
- ⑬ 教育に関する統計調査（他課に属するものを除く。）及び広報に関する事。
- ⑭ 児童生徒の推計に関する事。
- ⑮ 教育部内の文書の発収及び保存に関する事。
- ⑯ 教育関係予算の総括に関する事。
- ⑰ 教育部内の庶務に関する事。
- ⑱ 教育部内の事務事業の調整及び会議に関する事。
- ⑲ 教育部内の施策の総合調整に関する事。
- ⑳ 教育行政に関する相談に関する事。
- ㉑ 学校施設の整備に係る調査及び企画に関する事。
- ㉒ 学校施設の整備及び維持管理に関する事。
- ㉓ 学校施設の営繕に関する事。
- ㉔ 学校施設の工事の監督（他に委託するものを除く。）に関する事。
- ㉕ 学校施設台帳の整備に関する事。
- ㉖ 学校管理物品の整備に関する事。
- ㉗ 学校施設の使用申請等に関する事。
- ㉘ 大和市土地開発公社との連絡に関する事。
- ㉙ 教育部の所掌に係る国及び県の補助金、委託金及び負担金の申請、調査、請求及び報告に関する事。
- ㉚ 教育部の所掌に係る徴収金の調定及び徴収に関する事。
- ㉛ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る契約を結ぶ事。
- ㉜ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る物品の売却その他の処分に関する事。
- ㉝ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る寄附金等の受入れに関する事。
- ㉞ 教育部の所掌に係る議案（予算を除く。）の作成及び議案につき、市議会において説明する事。
- ㉟ ㉙～㉞に掲げるもののほか、教育部の所掌に係る予算についての支出負担行為、支出命令その他予算執行に関する事。

学校教育課

- ① 教職員の任免、服務その他人事に関する事。
- ② 教職員の人事評価に関する事。
- ③ 教職員の福利厚生に関する事。
- ④ 学校の組織及び学級編制に関する事。
- ⑤ 学齢簿の編制、整備並びに保管に関する事。
- ⑥ 児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関する事。
- ⑦ 就学の猶予及び免除に関する事。
- ⑧ 通学区域の設定及び変更に関する事。
- ⑨ 就学援助に関する事。
- ⑩ 奨学金に関する事。
- ⑪ 生徒運賃割引証に関する事。
- ⑫ 学校基本調査及び進路状況調査に関する事。

保健給食課

- ① 学校保健に係る調査及び企画に関する事。
- ② 児童生徒及び教職員等の保健衛生に関する事。
- ③ 就学時健康診断に関する事。
- ④ 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関する事。
- ⑤ 医療費援助及びめがね購入費補助に関する事。
- ⑥ 学校給食施設の整備計画に関する事。
- ⑦ 学校給食の管理指導に関する事。
- ⑧ 給食用物資の購入計画に関する事。
- ⑨ 学校給食共同調理場の運営管理に関する事。
- ⑩ 栄養指導センターに関する事。
- ⑪ 学校給食共同調理場運営協議会に関する事。

指導室

- ① 教科、道徳、特別活動等の指導助言に関する事。
- ② 教科用図書その他の教材等の取扱い、研究及び指導に関する事。
- ③ 教科用図書の採択に関する事。
- ④ 教職員の研修に関する事。
- ⑤ 児童生徒の事故に関する事。
- ⑥ 特別支援学級入級に関する事。
- ⑦ 学校行事予定に関する事。
- ⑧ 校外行事及び振替授業に関する事。
- ⑨ 学校教育振興に係る調査研究に関する事。
- ⑩ 教材教具及び学校図書館図書整備に関する事。
- ⑪ 教育相談指導に関する事。
- ⑫ 児童・生徒指導に関する事。
- ⑬ 教育研究所との連絡調整に関する事。

所管機関

教育研究所

- ① 研究所の管理運営に関すること。
- ② 教育の研究調査に関すること。
- ③ 教育図書及び教育資料に関すること。
- ④ 研究調査成果の発表及び出版に関すること。
- ⑤ 教育関係職員等の研修に関すること。
- ⑥ 教育活動の支援に関すること。
- ⑦ 教育史料の収集と刊行に関すること。
- ⑧ 教育の情報化に関すること。
- ⑨ 理科学習及び総合的な学習の推進に関すること。
- ⑩ その他教育研究所の庶務に関すること。

青少年相談室

- ① 青少年相談に関すること。
- ② 教育相談に関すること。
- ③ 不登校児童生徒の支援に関すること。
- ④ 教育支援教室に関すること。
- ⑤ 街頭補導及び継続補導に関すること。
- ⑥ 社会環境浄化活動に関すること。
- ⑦ 相談及び補導に関する統計並びに諸報告に関すること。
- ⑧ 相談室の管理運営に関すること。
- ⑨ その他相談室内の庶務に関すること。

学校給食共同調理場

- ① 給食の調理及び配送に関すること。
- ② 給食用物質の発注及び検収に関すること。
- ③ 食器、食かん等の洗浄、消毒及び保管に関すること。
- ④ 献立の作成、調理指導及び栄養の調査研究に関すること。
- ⑤ 衛生管理に関すること。
- ⑥ 学校給食共同調理場内（栄養指導センターを含む。）の維持管理に関すること。
- ⑦ その他学校給食共同調理場内の庶務に関すること。

特別支援教育センター

- ① 通級指導教室に関すること。
- ② 教育支援教室に関すること。
- ③ 教育相談及び教育指導に関すること。
- ④ 教育支援委員会に関すること。
- ⑤ 教職員の研修に関すること。
- ⑥ 特別支援教育センター内の維持管理に関すること。
- ⑦ その他特別支援教育センター内の庶務に関すること。

(以下は、大和市教育委員会の権限に属する事務を補助執行させるもの)

こども部

こども・青少年課

- ① 青少年教育に係る調査及び企画に関すること。
- ② 青少年教育施設の整備計画に関すること。
- ③ 青少年関係団体の指導及び育成に関すること。
- ④ 青少年指導者の育成に関すること。
- ⑤ 青少年を対象とする集会、講座、研修等の開催、指導助言及び育成に関すること。

文化スポーツ部

図書・学び交流課

- ① 社会教育の総合的な企画調整に関すること。
- ② 社会教育に係る調査及び企画に関すること。
- ③ 社会教育施設の整備計画に関すること。
- ④ 社会教育指導者の育成に関すること。
- ⑤ 社会教育に係る講座、討論会、講習会、講演会、展示会その他の集会に関すること。
- ⑥ 社会教育に対する支援に関すること。
- ⑦ 社会同和教育に係る啓発に関すること。
- ⑧ ユネスコ活動に関すること。
- ⑨ 社会教育委員に関すること。
- ⑩ 学習機会提供の総合管理に関すること。
- ⑪ 学校施設の使用による生涯学習の振興に関すること。
- ⑫ 生涯学習センター関係機関との連絡調整に関すること。
- ⑬ 地域を対象とする講座、展示会その他各種集会に関すること。
- ⑭ 読書活動の総合的な企画調整に関すること。

スポーツ課

- ① 学校体育施設のスポーツ開放に関すること。

(3) 所属別・職名別職員一覧表

令和6年4月1日現在

職名別 所属別	実数の内訳								左のうち管理職						
	事務職員	指導主事	技術職員	技能職員	用務員	調理員	再任用職員	合計実人数	部長	課長	室長	所長	場長	主幹	主任指導主事
教 育 部	33	10	5	2			4	54	1	3	1				1
教育総務課	14		2	2			3	21		1					
学校教育課	3	2					1	6		1					
保健給食課	9		2					11		1					
指導室	7	8						15			1				1
所 管 機 関	9	11	3					23			1	1	3		3
教育研究所	3	4						7				1			1
青少年相談室	2	2						4			1				1
北部学校給食共同調理場	1		1					2					1		
中部学校給食共同調理場	1		1					2					1		
南部学校給食共同調理場	1		1					2					1		
特別支援教育センター	1	5						6							1
小 学 校					5	6	8	19							
中 学 校					1		6	7							
合 計	42	21	8	2	6	6	18	103	1	3	2	1	3		4

3. 大和市の教育振興基本計画

教育委員会では、令和元年度～5年度を前期計画期間とした、「大和市学校教育基本計画」と「大和市生涯学習推進計画」を策定しました。

これら2つの計画は、「健康都市やまと総合計画」の個別計画として位置づけ、他の計画と整合を図りながら、施策を推進します。

また、併せて教育基本法で規定された地方公共団体が策定する「教育振興基本計画」を担うものです。令和6年度は、「健康都市やまと総合計画」の前期基本計画の1年延伸に対応して、2つの個別計画についても、計画期間を1年延伸しています。

(1) 大和市学校教育基本計画



4. 令和6年度 教育に係る当初予算

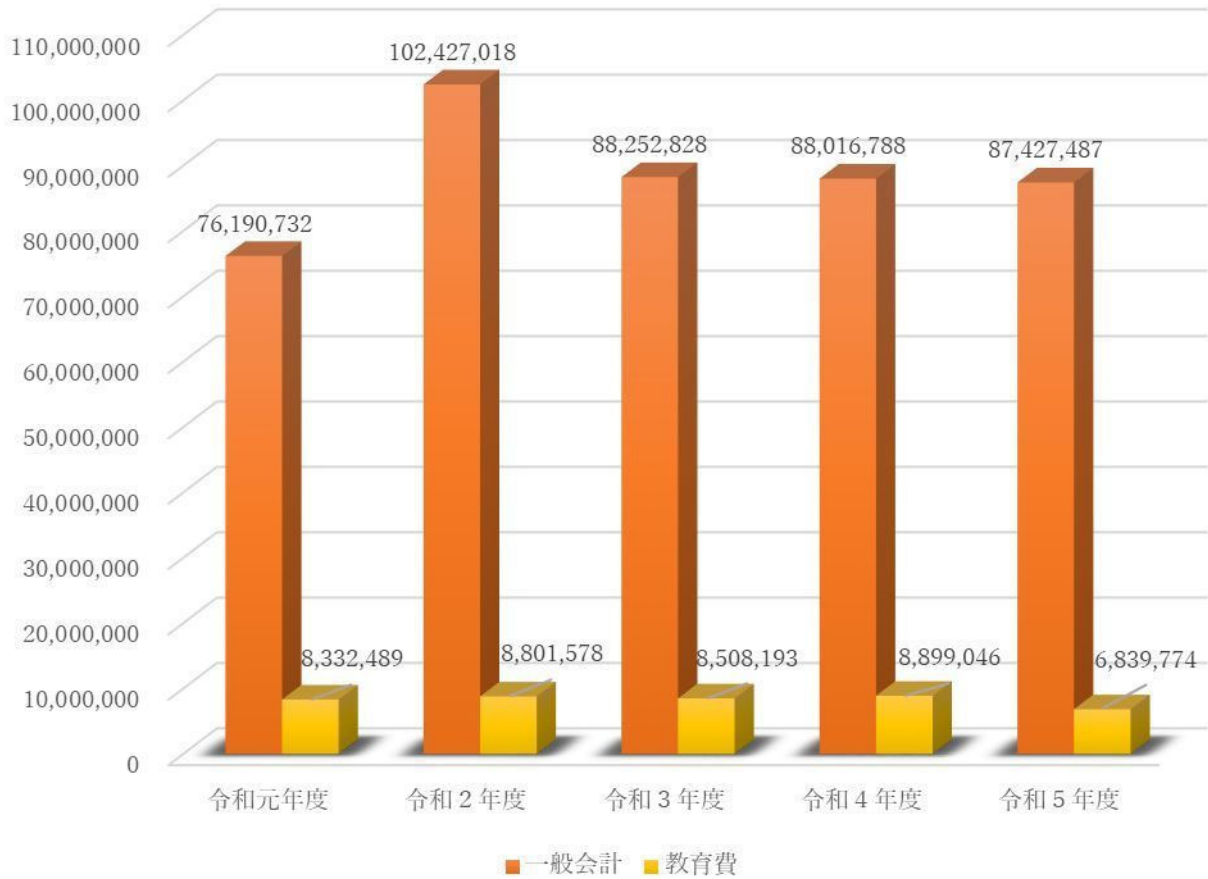
(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	比較
一 般 会 計	87,180,000	84,980,000	2,200,000
10 教 育 費	7,797,419	7,276,070	521,349
1 教 育 総 務 費	2,083,678	1,824,465	259,213
2 小 学 校 費	1,829,370	1,487,227	342,143
3 中 学 校 費	795,846	773,413	22,433
4 社 会 教 育 費	1,198,978	1,244,272	△ 45,294
1 社会教育総務費	217,234	232,826	△ 15,592
2 青少年育成費	40,806	40,262	544
3 公民館費	340,040	352,257	△ 12,217
4 図書館費	558,382	577,979	△ 19,597
5 文化財保護費	42,516	40,948	1,568
5 保 健 体 育 費	1,889,547	1,946,693	△ 57,146
1 保健体育総務費	393,610	373,787	19,823
2 学校給食管理費	1,420,906	1,449,354	△ 28,448
3 体育施設費	75,031	123,552	△ 48,521

5. 教育費

(1) 一般会計決算額と教育費決算額の推移

グラフ中の数字は実額（単位千円）
（令和5年度分は見込額）



(%)

年度	割合 (%)
令和元年度	10.9
令和2年度	8.6
令和3年度	9.6
令和4年度	10.1
令和5年度	7.8

(%)

年度	一般会計 (%)	教育費 (%)
令和元年度	2.8	12.3
令和2年度	34.4	5.6
令和3年度	△ 13.8	△ 3.3
令和4年度	△ 0.3	4.6
令和5年度	△ 0.7	△ 23.1

(2) 教育費目的別決算額の推移

() は構成比 (%) (単位: 千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 見込額
教育総務費	1,460,316 (17.5)	3,017,037 (34.3)	1,718,790 (20.2)	1,894,665 (21.3)	1,751,830 (25.6)
小学校費	3,252,617 (39.0)	1,676,286 (19.0)	1,764,628 (20.7)	1,695,427 (19.0)	1,296,380 (19.0)
中学校費	652,937 (7.9)	987,128 (11.2)	2,107,983 (24.8)	2,083,552 (23.4)	693,092 (10.1)
社会教育費	1,389,588 (16.7)	1,492,304 (17.0)	1,464,696 (17.2)	1,645,116 (18.5)	1,217,849 (17.8)
保健体育費	1,577,031 (18.9)	1,628,823 (18.5)	1,452,096 (17.1)	1,580,286 (17.8)	1,880,623 (27.5)
合 計	8,332,489 (100.0)	8,801,578 (100.0)	8,508,193 (100.0)	8,899,046 (100.0)	6,839,774 (100.0)

(3) 教育費性質別決算額の推移

() は構成比 (%) (単位: 千円)

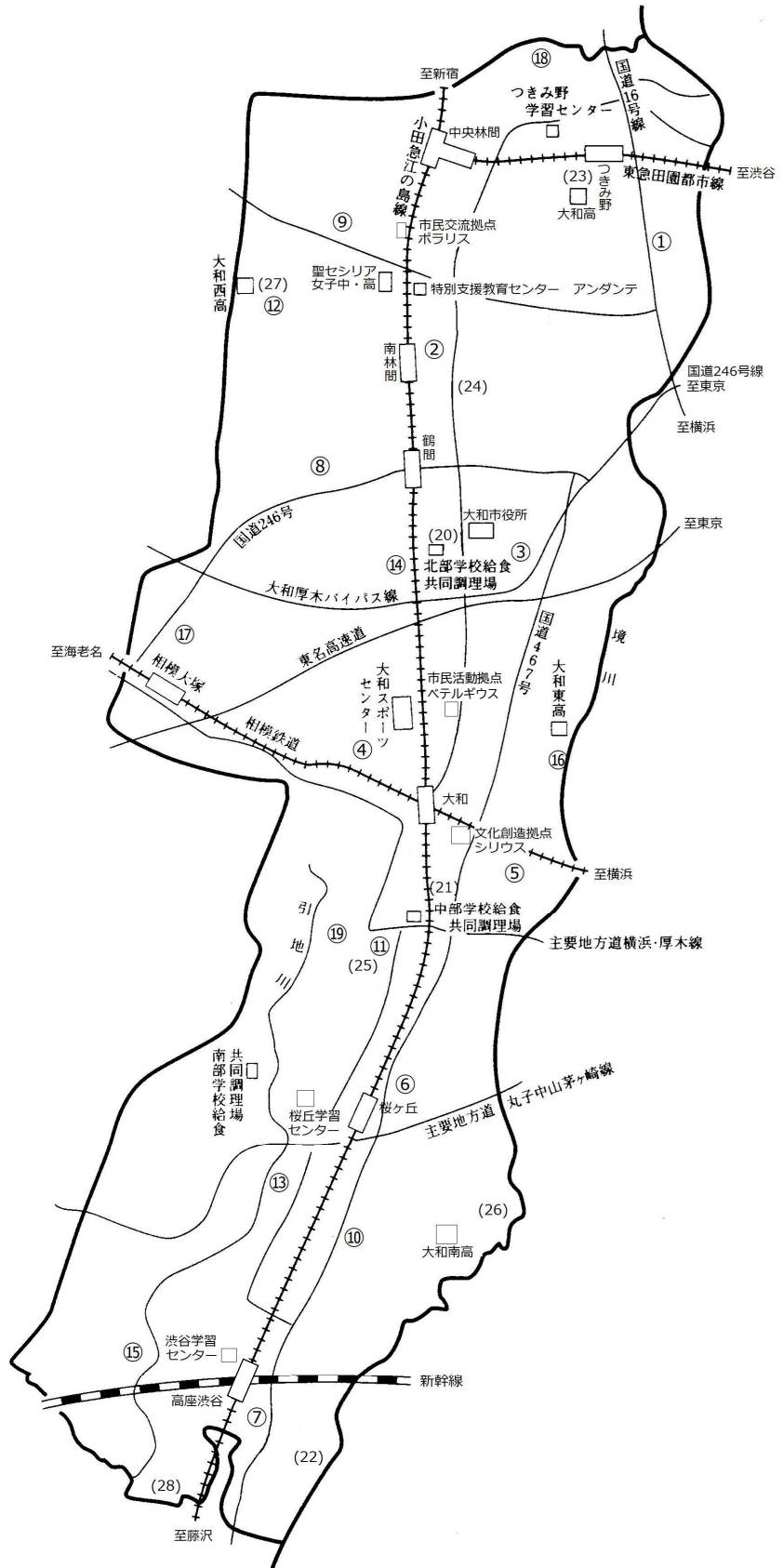
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 見込額
人 件 費	1,276,599 (15.3)	1,720,434 (19.6)	1,714,305 (20.2)	1,726,456 (19.4)	1,748,419 (25.6)
物 件 費	3,710,603 (44.5)	4,865,446 (55.3)	3,379,756 (39.7)	3,871,559 (43.5)	3,571,234 (52.2)
補助費等	94,317 (1.1)	125,904 (1.4)	104,308 (1.2)	194,260 (2.2)	308,724 (4.5)
維持補修費	198,839 (2.4)	199,163 (2.3)	110,726 (1.3)	128,475 (1.4)	137,964 (2.0)
扶 助 費	345,722 (4.2)	258,993 (2.9)	304,395 (3.6)	290,258 (3.3)	274,995 (4.0)
普通建設 事業費	2,706,369 (32.5)	1,631,621 (18.5)	2,893,589 (34.0)	2,687,923 (30.2)	798,167 (11.7)
┌ 補助事業	1,246,402 (15.0)	793,790 (9.0)	1,421,586 (16.7)	1,090,848 (12.3)	595,671 (8.7)
└ 単独事業	1,459,967 (17.5)	837,831 (9.5)	1,472,003 (17.3)	1,597,075 (17.9)	202,496 (3.0)
そ の 他	40 (0.0)	17 (0.0)	1,114 (0.0)	115 (0.0)	271 (0.0)
合 計	8,332,489 (100.0)	8,801,578 (100.0)	8,508,193 (100.0)	8,899,046 (100.0)	6,839,774 (100.0)

学校教育

学校教育施設位置図

- ① 北大和小学校
- ② 林間小学校
- ③ 大和小学校
- ④ 草柳小学校
- ⑤ 深見小学校
- ⑥ 桜丘小学校
- ⑦ 渋谷小学校
- ⑧ 西鶴間小学校
- ⑨ 緑野小学校
- ⑩ 上和田小学校
- ⑪ 柳橋小学校
- ⑫ 南林間小学校
- ⑬ 福田小学校
- ⑭ 大野原小学校
- ⑮ 下福田小学校
- ⑯ 大和東小学校
- ⑰ 文ヶ岡小学校
- ⑱ 中央林間小学校
- ⑲ 引地台小学校

- (20) 大和中学校
- (21) 光丘中学校
- (22) 渋谷中学校
- (23) つきみ野中学校
- (24) 鶴間中学校
- (25) 引地台中学校
・引地台中学校分教室
- (26) 上和田中学校
- (27) 南林間中学校
- (28) 下福田中学校



1. 市立学校一覽

(令和6年5月1日現在)

小 中 別	学校名	創立年月日	校長名	職員数 (定数) ・ 児童生徒数				学級数	開校記念日
				県費 職員	市費 職員	計	児 童 生 徒 数		
小 学 校	渋谷小	明治32.4.21	高島 裕樹	45	1	46	619	26	明治32.4.21
	大和小	〃 36.6.25	板坂 和明	51	1	52	815	33	〃 36.6.25
	北大和小	昭和23.12.15	中村 強	54	1	55	1116	38	昭和23.12.15
	林間小	〃 24.4.15	菅原 友昭	65	1	66	1047	38	〃 24.4.15
	草柳小	〃 32.4.1	寺山 智子	30	5	35	354	17	〃 32.4.25
	桜丘小	〃 32.4.1	塚本 潤子	30	1	31	467	19	〃 32.5.25
	深見小	〃 32.7.15	中村 美紀	33	5	38	525	22	〃 32.7.15
	西鶴間小	〃 42.4.1	高井 洋一	46	1	47	706	30	〃 42.4.13
	緑野小	〃 46.4.1	大塚 恭子	49	1	50	862	33	〃 46.5.29
	上和田小	〃 47.4.1	新井 隆	25	1	26	252	15	〃 47.4.26
	柳橋小	〃 48.4.1	古山 雅世	34	1	35	476	23	〃 48.5.15
	南林間小	〃 49.4.1	大谷 幸司	38	1	39	577	24	〃 49.7.2
	福田小	〃 50.4.1	塩原 貴明	36	1	37	510	25	〃 50.5.28
	大野原小	〃 51.4.1	阿南 由美	44	1	45	736	31	〃 51.5.24
	下福田小	〃 53.4.1	遠藤 昌司	32	1	33	536	22	〃 53.6.5
	大和東小	〃 54.4.1	袴田 史	32	1	33	547	22	〃 54.6.28
	文ヶ岡小	〃 55.4.1	吉田 美佳	27	1	28	393	16	〃 55.6.5
	中央林間小	〃 57.4.1	土佐野 睦	50	1	51	859	33	〃 57.6.21
	引地台小	〃 59.4.1	岡田 弘美	22	1	23	324	14	〃 59.6.20
中 学 校	大和中	昭和22.5.5	高井 文子	53	1	54	819	26	昭和22.5.5
	渋谷中	〃 22.5.5	清水 恭	29	1	30	318	14	〃 22.5.5
	光丘中	〃 35.4.1	溝口 広幸	59	1	60	906	29	〃 35.6.1
	つきみ野中	〃 46.4.1	比留川 義弘	56	1	57	961	30	〃 46.5.22
	鶴間中	〃 50.4.1	小澤 裕之	35	1	36	445	15	〃 50.6.3
	引地台中	〃 51.4.1	木内 正典	48	1	49	627	25	〃 51.6.1
	上和田中	〃 55.4.1	山内 辰徳	30	1	31	352	13	〃 55.6.2
	南林間中	〃 56.4.1	西澤 律雄	48	1	49	811	26	〃 56.6.10
下福田中	〃 58.4.1	竹中 崇	26	1	27	338	11	〃 58.6.18	

※引地台中学校は、引地台中学校分教室を含む。

2. 学校施設の状況

(令和6年5月1日現在・単位：㎡)

区分 学校名	校地面積	運動場	建物敷地	校舎面積	内 訳				武道場	体育館	プ ール
					鉄筋コン クリート 造	鉄 骨 造	木 造	そ の 他 造			
北大和小	16,429	9,093	7,336	8,267	8,204	43	20	0	0	989	
林間小	17,114	8,949	8,165	6,607	6,506	101	0	0	0	945	鋼板造 (25m×13m)
大和小	22,506	11,455	11,051	6,388	6,112	276	0	0	0	1,360	FRP (25m×13m)
草柳小	17,603	9,155	8,448	5,154	5,105	49	0	0	0	913	コンクリート造 (25m×13m)
深見小	15,086	7,159	7,927	4,819	4,710	109	0	0	0	913	鋼板造 (25m×13m)
桜丘小	15,192	5,526	9,666	4,952	4,842	90	20	0	0	913	コンクリート造 (25m×13m)
渋谷小	14,764	6,984	7,780	6,327	6,048	279	0	0	0	968	FRP (25m×13m)
西鶴間小	17,389	9,549	7,840	4,646	4,545	101	0	0	0	690	コンクリート造 (25m×13m)
緑野小	14,033	4,023	10,010	5,923	5,842	81	0	0	0	813	FRP (25m×13m)
上和田小	14,687	8,740	5,827	5,052	4,977	75	0	0	0	666	鋼板造 (25m×13m)
柳橋小	12,781	7,523	5,258	6,699	6,608	91	0	0	0	686	鋼板造 (25m×13m)
南林間小	14,503	6,609	7,894	5,339	5,265	74	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
福田小	13,554	8,002	5,552	5,703	5,626	77	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
大野原小	13,161	7,125	5,916	5,636	5,545	91	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
下福田小	14,381	7,136	7,040	5,320	5,200	120	0	0	0	729	アルミ造 (25m×13m)
大和東小	12,598	5,563	5,970	4,495	4,416	79	0	0	0	715	アルミ造 (25m×13m)
文ヶ岡小	12,090	6,578	5,505	4,220	4,133	87	0	0	0	727	アルミ造 (25m×13m)
中央林間小	13,514	5,908	7,606	6,736	6,736	0	0	0	0	715	アルミ造 (25m×13m)
引地台小	13,658	7,662	5,996	4,295	4,141	154	0	0	0	729	ステンレス造 (25m×13m)
小 計	285,043	142,739	140,787	106,578	104,561	1,977	40	0	0	15,469	
大和中	30,460	18,661	11,799	6,657	6,487	170	0	0	0	970	
光丘中	27,236	14,496	12,740	11,803	11,775	28	0	0	1,071	1,569	ステンレス造 (25m×13m)
渋谷中	15,717	7,726	7,991	10,011	10,011	0	0	0	1,032	1,110	FRP (25m×13m)
つきみ野中	20,496	10,097	10,399	7,505	7,177	328	0	0	809	1,314	ステンレス造 (25m×13m)
鶴間中	20,074	10,184	8,777	5,648	5,560	88	0	0	0	925	
引地台中	20,658	8,713	11,494	7,010	6,930	80	0	0	0	925	
上和田中	16,183	8,280	7,903	5,711	5,651	60	0	0	0	932	
南林間中	16,381	9,171	7,210	6,469	6,410	59	0	0	0	937	
下福田中	23,610	7,975	12,831	7,346	7,308	38	0	0	796	924	ステンレス造 (25m×13m)
小 計	190,815	95,303	91,144	68,160	67,309	851	0	0	3,708	9,606	
合 計	475,858	238,042	231,931	174,738	171,870	2,828	40	0	3,708	25,075	

3. 保有教室の内訳

(令和6年5月1日現在)

学校名	区分	普	理	生	音	図	家	視	P	図	特	相	プ	ラン	こ	総	多	会	児	国	オ	教
		通	科	活	楽	画	庭	聴	C	書	別	談	レ	チ	と	合	目	議	童	際	ー	材
		教	室	室	室	工	科	覚	室	室	活	室	イル	ル	ば	・	的	室	会	室	プ	材
		室	室	室	作	室	室	室	室	動	室	ム	ム	の	小	室	室	等	室	ル	室	
北大和小		39	2	0	1	1	1	0	1	2	1	3	1	1	0	0	4	1	0	1	0	0
林間小		35	1	0	1	1	1	0	0	2	2	1	0	0	2	0	0	3	0	1	0	4
大和小		37	1	0	2	2	1	0	1	3	3	2	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1
草柳小		17	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	3	1	1	1	0	0
深見小		23	1	0	1	1	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2
桜丘小		18	1	0	1	1	1	1	1	2	2	0	1	0	0	0	3	2	1	0	0	2
渋谷小		24	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	2	1	1	1	0	3	0	2
西鶴間小		26	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
緑野小		29	1	0	1	1	1	0	0	1	1	2	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1
上和田小		13	1	0	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	0	3	0	1	1	0	0	0
柳橋小		21	1	0	1	1	1	1	1	2	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1
南林間小		23	1	0	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
福田小		22	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	4	4	2	0	1	0	3
大野原小		29	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1
下福田小		23	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	2	0	1	0	3
大和東小		22	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	2	1	0	1	0	2
文ヶ岡小		16	1	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	3	1	0	1	0	2
中央林間小		28	1	0	1	1	1	0	1	1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	6
引地台小		14	1	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2
計		459	20	0	20	20	19	6	14	26	21	26	8	4	4	12	26	22	7	17	1	37
学校名	区分	普	理	音	美	技	家	視	P	図	特	教	P	会	多	学	国	生	プ	少	研	教
		通	科	楽	術	術	庭	聴	C	書	別	育	C	議	目	習	際	徒	レ	人	究	材
		教	室	室	室	室	科	覚	室	室	活	相	研	室	的	室	室	会	イル	数	室	材
		室	室	室	室	室	室	室	室	動	談	究	室	室	室	室	室	室	ム	学	習	室
大和中		25	2	2	2	2	2	1	0	1	0	1	1	3	1	1	1	1	0	3	0	1
光丘中		29	2	2	2	2	2	1	1	1	0	3	0	4	3	2	1	1	0	0	0	5
渋谷中		14	2	1	1	2	2	1	0	1	1	1	0	2	3	1	1	1	1	0	0	4
つきみ野中		30	2	2	2	2	2	0	1	1	0	2	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1
鶴間中		14	2	1	1	2	2	0	0	1	0	1	0	1	2	1	1	1	0	0	0	1
引地台中		22	2	2	2	3	2	1	0	1	0	2	0	0	1	2	0	1	0	0	0	2
上和田中		13	2	2	1	2	2	0	0	2	0	1	0	3	3	0	1	1	3	2	0	5
南林間中		25	2	1	1	1	2	1	0	1	0	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
下福田中		11	2	1	1	2	2	1	0	1	1	3	0	2	5	0	0	1	0	0	1	5
計		183	18	14	13	18	18	6	2	10	2	16	1	16	21	7	6	9	4	5	1	27

4. 学校施設の整備状況

(1) 校舎等の防音工事

大和市は、米海軍厚木基地に隣接しているため、航空機の騒音により学校の授業が中断されるなど教育面に大きな影響を受けています。そこで、これらの被害を軽減するため国の騒音防止対策事業によって、全校舎防音工事が施されています。

- 平成 29 年度 渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事を実施。
南林間中学校復旧温度保持除湿工事を実施。
- 平成 30 年度 下福田中学校復旧温度保持除湿工事を実施。
- 令和元年度 大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事を実施。
- 令和 3 年度 文ヶ岡小学校復旧温度保持除湿工事を実施。
鶴間中学校復旧防音及び大規模改修工事を実施。
- 令和 4 年度 引地台中学校復旧防音及び大規模改修工事を実施。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			文科補助金	防衛補助金	一般財源他
29	渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事	797,535	147,793	87,522	562,220
	南林間中学校復旧温度保持除湿工事	281,086	0	234,539	46,547
30	下福田中学校復旧温度保持除湿工事	315,257	0	231,531	83,726
元	大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事	985,478	134,057	332,136	519,285
3	文ヶ岡小学校復旧温度保持除湿工事	204,990	0	167,769	37,221
	鶴間中学校復旧防音及び大規模改修工事	1,189,897	77,603	376,604	735,690
4	引地台中学校復旧防音及び大規模改修工事	1,448,055	89,277	381,816	976,962

(補助金の根拠法令) 防衛省 : 防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律
文部科学省 : 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

(2) 耐震補強工事

校舎等の耐震性能の向上を図ることにより、教育環境の安全を守るとともに、地域防災計画にある避難所として、より効率的な役割を果たします。

① 校舎の耐震補強工事

平成 7 年度から平成 14 年度までに完了しました。

② 体育館の耐震補強工事

カマボコ型屋根を除き、平成 11 年度から平成 18 年度までに完了しました。

カマボコ型屋根体育館は、平成 22 年度までに建替え工事が完了しました。

※平成 22 年度を以って、市立小中学校全ての校舎及び体育館の耐震化率が 100%となりました。

(3) 非構造部材の耐震化工事

体育館・武道場などの屋内運動場等について非構造部材の耐震化を図ることにより、教育環境の安全を守るとともに、地域防災計画にある避難所として、より効率的な役割を果たします。

屋内運動場等の非構造部材の耐震化は、平成 28 年度までに完了しました。

(4) 校舎等の増築工事

児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保します。

令和元年度 北大和小学校増築工事を実施。

令和 3 年度 中央林間小学校増築工事を実施。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			文科補助金	防衛補助金	一般財源他
元	北大和小学校増築工事	1,098,052	294,744	84,589	718,719
3	中央林間小学校増築工事	662,429	169,856	52,558	440,015

(補助金の根拠法令) 防衛省：防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
文部科学省：義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

(5) 体育館の建替工事

児童数増加に伴う体育館の必要面積の不足を解消し、快適な教育環境を確保します。

令和 4 年度 北大和小学校体育館建替工事を実施。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			文科補助金	防衛補助金	一般財源他
4	北大和小学校体育館建替工事	594,673	47,364	0	547,309

(補助金の根拠法令) 文部科学省：義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

5. 教育指導

指導室の重点目標 **全ての子どもたちの可能性を引き出す魅力ある学校教育の創造
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指して～**

予測困難な社会の変化に、子どもたちが主体的に対応する能力を身に付けるため、基礎的・基本的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力等をバランスよくはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことが必要です。そこで、すべての教育活動において、確かな学力を身に付け、豊かな人間性や社会性をはぐくみ、健やかに生きる児童生徒の育成に努めていきます。

(1) 学校訪問

教育課程、学習指導、児童生徒指導、その他学校教育に関する専門的事項について指導助言を行うとともに、学校教育全般にわたる諸問題を把握し、本市教育の充実に努めます。

1. 計画訪問

- (1) 実施期間 5月～7月
- (2) 実施回数 小・中学校とも全体会1回
- (3) 内 容

協議会	◎指導室より、重点施策について説明する。 ◎校長・教頭とともに、協議を行う。 ①学校経営方針 ②教育課程 ③学校で重点を置く課題 ④指導室で設定するテーマ
-----	--

2. 要請訪問

- (1) 実施期間 6月～2月まで
- (2) 実施回数 原則、研究指定校は通年で3回まで。それ以外の学校も1回は実施。
- (3) 内 容

授業研究	◎授業実践に関する指導助言を行う。(指導案作成、授業実践前後の指導助言など) ◎校内研究に関する指導助言を行う。(推進委員会や校内研修会の指導助言など) ◎研究発表に関する指導助言を行う。(発表前、発表当日の指導助言など) ◎教育課程に関する指導助言を行う。(教科指導、評価のあり方、人権教育など) ◎特別支援に関する指導助言を行う。(校内支援、インクルーシブ教育など)
------	---

3. 訪問研修

- (1) 実施期間 5月～2月
- (2) 実施回数 1回
- (3) 内 容 指導室の提示する課題について、校内研修を実施。

4. 初任者訪問指導

- (1) 実施期間 9月～2月
- (2) 実施回数 原則として従来方式の学校のみ初任者1名に対して1回実施。
県央教育事務所指導訪問を兼ねる。(本市指導主事と2名で訪問指導を行う)
- (3) 内 容 教科の授業実践に関する指導助言を行う。

(3) 研究

各学校の自主的研究の高揚を図り、教育の質的向上を実現するために、研究委託校を設置し、研究の成果を研究集録にまとめ、本市の学校教育に反映させています。

① 委託研究

学校名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
北大和小	互いに聴き合い学び合う児童の育成 ～自ら伝える力の向上を目指して～	互いに聴き合い学び合う児童の育成 ～自ら伝える力の向上を目指して～	学びを深める児童の育成～自ら問題を見いだして考えを深める子～	学びを深める児童の育成～考えることを楽しめる授業づくり～	学びを深める児童の育成～考えることを楽しめる授業づくり～
林間小	授業改善で育む主体的に学ぶ能力	生活に生きる読解力の向上を目指して～読む力・考える力・表現する力の育成を通して～	豊かに表現する子どもを育む授業づくり～読解力(読む力・考える力・表現する力)の育成を通して～	豊かに表現する子どもを育む授業づくり 読解力～読む力・考える力・表現力を身につける～	進んで学ぶ ふたばっ子の育成を目指して～どの子も満足!「わかった」「できた」を実現する授業～
大和小	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～よりよい関わりを生む、「見方・考え方」を働かせた授業づくり～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～活用的な語彙力を生かし、学びを深める授業づくり～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～語彙力を生かし、学びを深める授業づくり～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～語彙力を生かし、学びを深める授業づくり～	「心と心を通わせよう!～一人ひとりが大切にされる あたたかい集団づくり～」
草柳小	共に学び、共に生きる～自分の考えを明確に伝え合う力の育成～	共に学び、共に生きる～自分の考えを明確に伝え合う力の育成～	共に学び、共に生きる～つけたい力を明確にし、子どもに力をつける、指導と評価の研究～	共に学び、共に生きる～つけたい力を明確にし、子どもに力をつける、指導と評価の研究～	児童全員がわかる授業の工夫～伝え合いを通して、課題を解決できる授業づくり～
深見小	自分の考えをもち、進んで学び合う深見っ子の育成を目指して	聴く力を付けよう～主体的に取り組む態度の育成をめざして～	「わかった」「できた」を実感できる授業づくり～自己肯定感の育成～	主体的に行動できる深見っ子の育成～自己肯定感のある子をめざして～	主体的に学習に取り組む深見っ子の育成～音・図・体からのアプローチ～
桜丘小	学び合い 育ち合い 共に生きる子をめざして～「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた体育科の授業づくりの研究～	学び合い 育ち合い 共に生きる子をめざして～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と学習評価～	これからの時代を生き抜く力を育む～自信をもって自分を表現できる子どもの育成～	これからの時代を生き抜く力を育む～自信をもって自分を表現できる子どもの育成～	これからの時代を生き抜く力を育む～自信をもって自分を表現できる子どもの育成～
渋谷小	「できた!」「分かった!」を実感できる子の育成～主体的に学ぶ意欲と確かな学力の向上を目指して～	「わかった!」「できた!」を実感できる子の育成～主体的に学ぶ意欲と確かな学力の向上を目指して～	「わかった!」「できた!」を実感できる子の育成～基礎学力の向上を目指して～	(教師・児童) みんなが学ぶ授業づくり～学び合いを通して、自らの課題を解決する子を目指して～	「見つけて・関わって→smile 100%『〇〇たい!』」があふれる授業づくり
西鶴間小	新学習指導要領への改訂に向けて～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～	基礎基本の定着をはかるための、効果的な指導法の追求	主体的・対話的・深い学びの実現に向けた授業づくり～クロームブックを媒体とした心のふれあい～	主体的・対話的・深い学びの実現に向けた授業づくり～クロームブックを媒体とした心のふれあい～	「協働して学ぶ授業」
緑野小	「自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして」育成を目指す資質・能力を明確にした緑野カリキュラムの創造～自己の生き方を考えていくために～	自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして～伝え合うことを通じて学びを深める子どもを育てるために～	主体的に学びに向かい、ICTを活用してよりよく課題解決する子どもの育成	自分の思いや考えを伝え合い、表現する子どもの育成～ICTの効果的な活用を通して～	すべての子どもたちの未来を切り開く確かな学びの実現を目指して～一人一人の子どもたちの可能性を引き出す手立て～
上和田小	伝え合い、深め合い、高め合う子どもの育成をめざして～「特別の教科 道徳」の指導と評価～	伝え合う、深め合う、子どもの育成をめざして～相手を意識して、自分の考えを伝えられる子～	伝え合う、深め合う、子どもの育成をめざして～相手を意識して、自分の考えを伝えられる子～	伝え合う、認め合う子どもの育成をめざして	伝え合う、認め合う子どもの育成をめざして
柳橋小	自分で考え、かかわり合いの中で学ぶ子どもの育成を目指して～伝え合い・学び合い・高め合い「あい」のあふれる授業づくり～	自分で考え、かかわり合いの中で学ぶ子どもの育成を目指して～伝え合い・学び合い・高め合い「あい」のあふれる授業づくり～	主体的に学ぶ子どもの育成を目指して～かかわり合いを通して、自分の成長を実感できる授業づくり～	主体的に学ぶ子どもの育成を目指して～かかわり合いを通して、自分の成長を実感できる授業づくり～	かかわり合いを通して主体的に学ぶ子どもの育成～粘り強く課題解決を目指す授業づくり～
南林間小	主体的・対話的に学ぶ児童の育成～ICTの効果的な活用～	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり～根拠や理由に基づいた自分の考えを表現できる児童の育成～	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり～根拠や理由に基づいた自分の考えを表現できる児童の育成～	基礎基本の定着を目指した授業づくり～なんりんスタンダードの構築を目指して～	基礎基本の定着を目指した授業づくり～なんりんスタンダードの構築を目指して～
福田小	主体的に学ぶ児童の育成	自分の考えを持ち、発信する力を育む国語力の育成～書く活動を通して～	自己肯定感を高め、互いに認め合う児童の育成	考えを深めあえる児童の育成～ふくだっ子 心のふれあい～	自らの見方、考え方を広げる児童の育成
大野原小	心身ともに健康な子どもをめざして～自他を大切に、より良い人間関係を築く道徳教育の充実～	友だちと豊かなかかわりができる子～語彙力の向上をめざした国語科の基礎基本の充実～	友だちと豊かなかかわりができる子～読むことを中心とした語彙力の向上～	「友だちと豊かなかかわりができる子」～語彙力を定着させるための言語活動を通じた指導の工夫～	「友だちと豊かなかかわりができる子」「主体的・対話的で深い学び」を実現する魅力的な授業づくり～読むことを中心として～

下 福 田 小	自分の考えを深める子 ～つながりを意識した授業づくり～	自分の考えを深める子 ～つながりを意識した授業づくり～	いきいきと表現できる下福っ子をめざして ～国語科での言語活動の充実～	いきいきと表現できる下福っ子をめざして ～国語科での言語活動の充実～	いきいきと表現できる下福っ子をめざして ～国語科での言語活動の充実～
大 和 東 小	自ら学び、考えを豊かに伝え合う子どもを追い求めて～思考力・想像力、言語感覚を養う学習の充実を通して～	主体的・対話的で深い学びを目指して ～聴いて、考えて、学び合う日々の授業の充実を通して～	主体的で対話的な学びを通して、考えを深められる子どもの育成 ～ICT機器を活用した授業改善～	主体的で対話的な学びを通して、考えを深められる子どもの育成 ～ICT機器を活用した授業改善～	主体的で対話的な学びを通して、考えを深められる子どもの育成 ～ICT機器を活用した授業改善～
文 ヶ 岡 小	学力向上につながる日常授業の改善	主体的な家庭学習の指導～学びに向かう力を高める～	学びに向かう力を育てる～自分で考え、自信を持って学び続ける子～	主体的に学びに向かう力を育む ～「問いづくり」を基盤とした授業と評価～	主体的に学びに向かう力を育む ～「問いづくり」を基盤とした授業～
中央林間小	いつも「何のため」を考え、自ら行動しようとする子をめざして ～全員が参加できる道徳科の授業を通して～	いつも「何のため」を考え、自ら行動しようとする子をめざして ～全員が参加できる道徳科の授業を通して～	一人一台端末の効果的活用場面の探求 ～よりよい授業を目指して～	「何のため」を考え、課題を解決する子を目指して ～1人1台端末の効果的な活用場面の探求～	自らの考えを伝え合い、学びを深め合える児童の育成～考えを広げてつなげることを意識した授業作りを目指して～
引 地 台 小	認め合う・学び合う子の育成～ICTの有効な活用～	主体的・対話的で深い学び～ICT活用の試行～	授業のアップデート ～主体的・対話的で深い学び～	やる気のアップデートで楽しく学ぶ子の育成 ～算数科における学力向上に向けた授業展開の工夫～	「いいね！」を広げながら、意欲的に学ぶ子の育成 ～生活と学習の結びつきを意識して協働的に学び、考えを深めるための指導の工夫～
大 和 中	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成～人間関係を土台とした、生徒全員が生き生きと活動できる学校を目指して～	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成 ～生徒一人ひとりの自己肯定感を育む学習をめざして～	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成 ～人間関係を土台とした、生徒全員が生き生きと活動できる学校をめざして～	『いのち』を大切にすることを育む教育の推進 ～自他を認め心豊かに生きる生徒の育成～	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成
光 丘 中	特別の教科 道徳の授業研究及び評価について	道徳教材の蓄積及び評価について	新学習指導要領における評価について	評価について	防災 ～防災教育の充実～
渋 谷 中	知識の習得から、活用・探究までの学習過程を見通す研究Ⅱ ～新学習指導要領の完全実施へ向けて～	新指導要領に向けて	地域に根差し、未来を生き抜く力の育成 ～SDGsの取り組みを通して～	地域に根差し、未来を生き抜く力の育成	主体的に学習に取り組む態度の評価の研究
つきみ野中	生徒の心を育てる実践のための「道徳教育の研究」	新学習指導要領に準じた評価基準の研究	新学習指導要領に準じた『主体的に学習に取り組む態度』の評価の研究	問題解決への見通しを持ち、自分の考えをまとめ、伝え合う力の育成	ともに学び、課題解決に向かう生徒の育成 ～見通し・話し合い・まとめ～
鶴 間 中	『世界へ羽ばたく「鶴舞い市民」の育成』～鶴舞いの里から世界へ、地域と連携した学校づくり～	「学びあい活動」を取り入れた授業実践の継続	生徒の学び合いとタブレット機器の活用	主体的に学ぶ態度を育成する機会の設定と評価について ～効果的な生徒のタブレット機器の活用方法について～	9年間の豊かな「学び」と「心」を育む、切れ目のない教育を目指して
引 地 台 中	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成 ～学び合う力を育み、自ら気づく喜びを大切にする授業を目指して～	新学習指導要領における観点別学習評価について	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成 ～ICT機器の効果的な活用を通して学び合う力を育み自ら気づく喜びを大切にする授業づくり	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成 ～ICT機器の効果的な活用を通して～	引地台中学校の課題を整理し、魅力ある学校づくりのための土台を作る
上 和 田 中	教育活動全体を通して行う道徳教育 ～各教科、総合的な学習の時間、特別活動などで育む道徳性～	新学習指導要領に向けての授業改善と評価	新学習指導要領に対応した授業改善と評価	主体的に学習に取り組む態度を育てるための授業実践	校内生徒指導のあり方/主体的に学習に取り組む態度を育てるための授業実践
南 林 間 中	生徒が各教科の「見方・考え方」を働かせる授業づくりの研究～(意図的な)習得・活用・探究の場面の設定の工夫～	本時のねらいを明確にした授業づくりの研究 ～評価方法とBの設定・生徒を到達させるための具体的な手立ての工夫～	主体的に学習に取り組む態度を育む授業づくりと評価方法の研究	主体的に学習に取り組む態度を育むためのICT活用	ベストミックスを目指した効果的かつ効率的な学校運営
下 福 田 中	生徒とともに創る主体的な「学び」の場	生徒とともに創る主体的な「学び」の場	生徒とともに創る主体的な「学び」の場	すべての生徒が3年間、たのしく学べるための学校づくり ～生徒のようすを見取る中で～	誰もが安心して、たのしいと思える学校をめざして ～誰一人取り残さない学校の見直しから～

② 指定研究・特別委託

学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
北大和小	ふれあい教育実践研究推進校				
林間小				教育課題研究推進校 小・中学校連携実践 研究協力校	教育課題研究推進校 小・中学校連携実践 研究協力校
大和小	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校		
草柳小					
深見小					
桜丘小		教育課題研究推進校 小・中学校連携実践 研究協力校	教育課題研究推進校 小・中学校連携実践 研究協力校	教育課題研究推進校	
渋谷小				ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校
西鶴間小	小・中学校連携実践研究協力校	ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校		
緑野小	小・中学校連携実践研究協力校				
上和田小		小・中学校連携実践研究協力校	小・中学校連携実践研究協力校		
柳橋小	ふれあい教育実践研究推進校				
南林間小	小・中学校連携実践研究協力校				
福田小		ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校		
大野原小					教育課題研究推進校
下福田小	教育課題研究推進校				
大和東小					
文ヶ岡小					
中央林間小				ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校
引地台小					
大和中					
光丘中				ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校
渋谷中		ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校		

つきみ野中			教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校
鶴間中	ふれあい教育実践研究推進校			小・中学校連携実践研究推進校	小・中学校連携実践研究推進校
引地台中					
上和田中		小・中学校連携実践研究推進校	小・中学校連携実践研究推進校		
南林間中	小・中学校連携実践研究推進校				
下福田中	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校			

③児童生徒指導関係

ア 指導力の向上のための研究・研修

学校別児童生徒指導研修会

イ 小・中学校の連携の推進

いじめ問題対策連絡協議会

ウ 児童生徒指導体制の確立

児童生徒指導強化対策事業

大和市中学校生徒指導連絡協議会

児童支援中核教諭の配置

匿名報告・相談アプリ「STANDBY」

エ 家庭・地域社会等との連携の推進

家庭・地域教育活性化会議

公立中学校と保護司との連絡協議会

小中学校保護者向けデジタル連絡ツール

④特別支援教育関係

- ア 大和市特別支援教育センター（アンダンテ）の設置（令和元年度から）
 - a はぐくみの教室(通常の学級に在籍する情緒・行動面等に課題のある児童生徒の通級指導教室)
 - b ひだまりの教室(特別支援学級に在籍の不登校児童生徒の教育支援教室)
 - c 教育的ニーズのある児童・生徒に対する教育相談体制の充実
 - 就学相談
 - 障がいのある児童・生徒・保護者に関する相談
 - d 特別支援教育に関する研究・研修及び理解・啓発
 - 校内支援体制の充実
 - 交流・共同学習の推進
 - 特別支援教育研修会
 - 大和市特別支援教育研究会委託
- イ 特別支援教育ヘルパー配置（平成4年度から）
- ウ 特別支援教育スクールアシスタント配置（平成16年度から）
- エ ことばの教室（平成6年度から）
- オ 大和市立病院院内学級（病弱・身体虚弱学級）（平成6年度から）
- カ 医療的ケアが必要な児童生徒に対する看護師派遣（平成30年度から）
- キ 教育支援委員会の設置（令和5年度から）

(4) 国際教育

国際教育の推進を図るとともに、外国人児童生徒及び帰国児童生徒の適応指導、日本語指導、特性の保持・伸長のために国際教室を設置しています。また、昭和61年度から、外国人英語指導助手の派遣を行い、平成11年度からは、英語指導等のため、小学校に国際教育指導員を派遣するなど、英語指導の充実と国際交流活動に努めています。

また、平成30年度から、外国人児童生徒支援コーディネーター、日本語指導巡回教員、日本語指導アドバイザーを配置し、外国につながる児童生徒への日本語指導・教科指導等の支援の充実に努めてまいります。

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国際教室	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 草柳小学校 文ヶ岡小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 草柳小学校 文ヶ岡小学校 深見小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 草柳小学校 文ヶ岡小学校 深見小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 草柳小学校 文ヶ岡小学校 深見小学校 上和田小学校 引地台小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 草柳小学校 文ヶ岡小学校 深見小学校 上和田小学校 引地台小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校
英語指導助手	3名	3名	3名	3名	3名
外国人児童生徒支援 コーディネーター	1名	1名	1名	1名	1名
日本語指導 巡回教員	1名	1名	1名	1名	1名
日本語指導 アドバイザー	1名	1名	1名	1名	1名

小学校外国語活動指導助手	12名	12名	12名	12名	12名
外国人児童生徒教育相談員	19名	22名	22名	22名	22名
	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語 ウルドゥー語
日本語指導員	7名	7名	7名	7名	7名

(5) 学校への助成等

番号	内容／年度	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
1	児童・生徒指導強化対策事業委託	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	進路指導推進事業委託	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	特別支援教育推進事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	教育研究会等補助事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	健康増進特別事業補助金（キャンプ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	健康増進特別事業補助金（福祉体験）	—	—	○	○	○	○	○	○	○
7	健康増進特別事業補助金（車いすバスケ）	—	—	—	○	○	○	○	○	○
8	文化的行事助成事業補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	美術鑑賞事業補助金（小学校のみ）	○	○	○	○	○	×	×	×	×
10	神奈川県中学校文化連盟大和支部総合文化祭補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	学校別児童・生徒指導研修会	○	○	○	○	○	○	×	×	×
12	地域教育力活用推進事業（勤労生産学習推進事業）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	地域教育力活用推進事業（教育支援者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	中学校部活動指導者派遣事業・部活動補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6. 児童・生徒及び教職員の推移

(1) 最近5ヶ年の小・中学校別児童生徒数（各年5月1日現在）

学 校 \ 年	2	3	4	5	6
北 大 和 小	1,142	1,095	1,100	1,145	1,116
林 間 小	978	984	989	1,002	1,047
大 和 小	991	915	899	872	815
草 柳 小	420	400	395	374	354
深 見 小	531	522	527	522	525
桜 丘 小	457	466	474	470	467
渋 谷 小	635	633	612	607	619
西 鶴 間 小	699	696	729	734	706
緑 野 小	818	846	857	835	862
上 和 田 小	272	275	279	269	252
柳 橋 小	546	538	518	492	476
南 林 間 小	606	605	594	588	577
福 田 小	593	563	546	530	510
大 野 原 小	713	706	717	726	736
下 福 田 小	501	490	509	524	536
大 和 東 小	505	508	523	532	547
文ヶ岡小	476	470	452	431	393
中央林間小	680	737	767	806	859
引地台小	363	328	310	319	324
計	11,926	11,777	11,797	11,778	11,721
大 和 中	822	853	826	836	819
光 丘 中	866	909	914	914	906
渋 谷 中	293	309	301	321	318
つきみ野中	876	932	945	962	961
鶴 間 中	439	441	448	461	445
引地台中	639	666	680	676	627
上 和 田 中	357	365	366	358	352
南 林 間 中	752	758	779	812	811
下 福 田 中	315	338	341	329	338
計	5,359	5,571	5,600	5,669	5,577

(2) 年度別学校職員定数

〈小学校〉

各年5月1日現在

年度 区分	2	3	4	5	6
校長・教頭	38	38	38	38	38
総括教諭・教諭	612	623	628	646	646
講 師	—	—	—	—	—
養護教諭	22	22	23	22	23
栄養教諭	4	4	4	4	6
事務職員	27	27	28	30	27
栄養士	5	5	5	5	3
学校給食員	8	8	8	8	8
庁務作業員	19	19	19	19	19
合 計	735	746	753	773	770

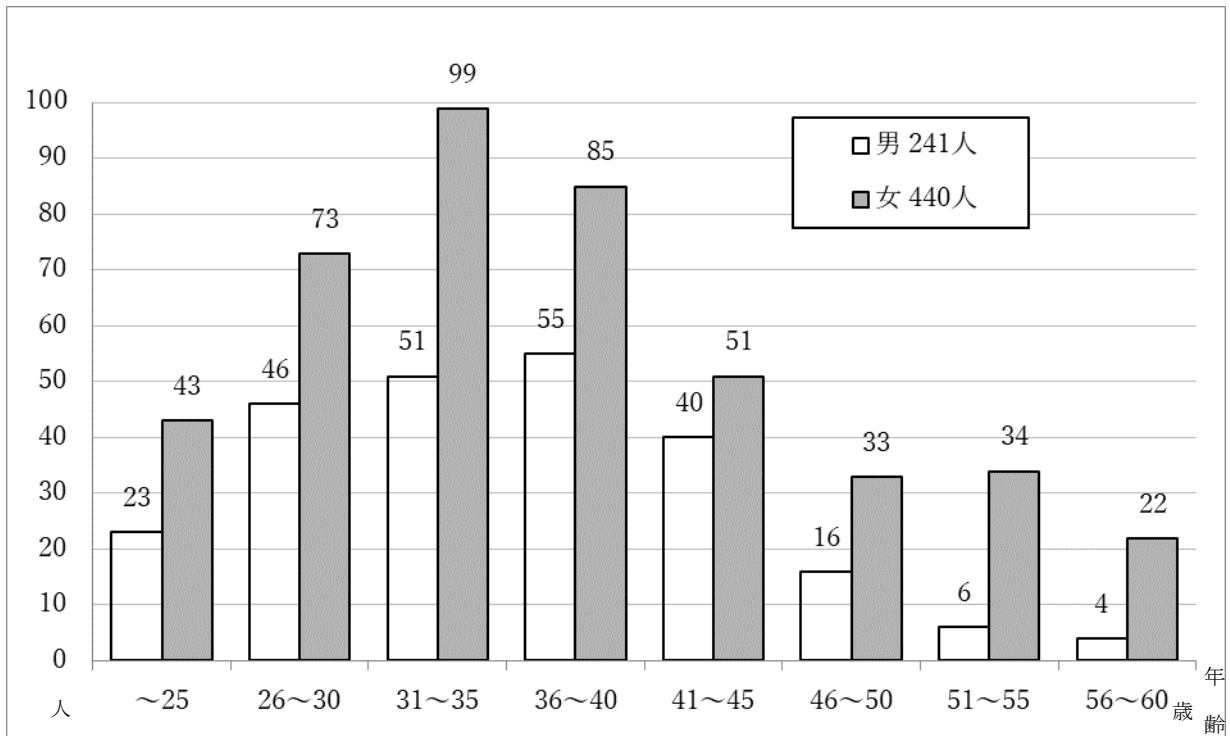
〈中学校〉

年度 区分	2	3	4	5	6
校長・教頭	18	18	18	18	18
総括教諭・教諭	322	329	333	334	336
講 師	—	—	—	—	—
養護教諭	12	12	12	13	13
栄養教諭	1	1	1	1	1
事務職員	15	15	15	15	15
栄養士	1	1	1	1	1
庁務作業員	9	9	9	9	9
合 計	378	385	389	391	393

(3) 教員の年齢別・男女別一覧（校長・教頭・再任用教諭・養護教諭・事務・栄養・市費を除く）

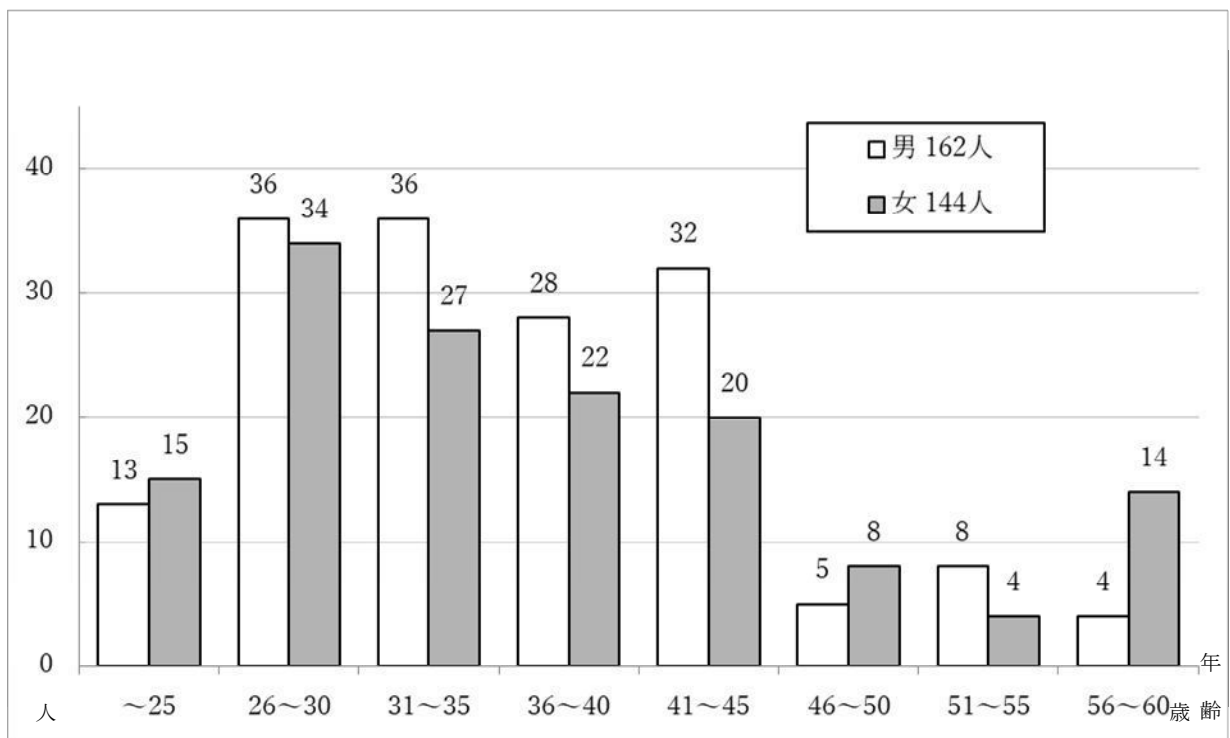
確認が必要

小学校



※年齢は、令和5年度末時

中学校



※年齢は、令和5年度末時

7. 特別支援学級

〈学級数・児童生徒数の推移〉

各年5月1日現在

区 分		年	2	3	4	5	6
小 学 校	学 級 数		90	94	94	100	106
	児 童 数		475	508	540	580	585
中 学 校	学 級 数		36	40	36	41	38
	生 徒 数		162	166	180	195	211
計	学 級 数		126	134	130	141	144

8. 進路状況

〈年度別中学校卒業者の進路状況〉

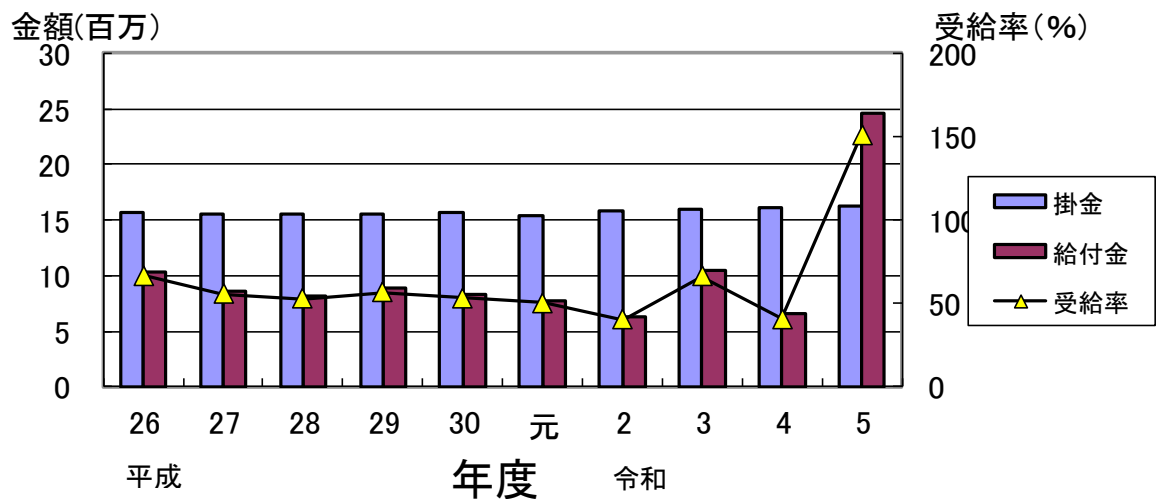
区 分		年 度		元		2		3		4		5	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
卒 業 者 総 数	男	951	100.0	920	100.0	908	100.0	907	100.0	1,017	100.0		
	女	827	100.0	832	100.0	925	100.0	892	100.0	937	100.0		
高 校 進 学 者	男	933	98.1	908	98.7	894	98.4	899	99.1	1,003	98.6		
	女	815	98.5	827	99.4	912	98.6	889	99.7	930	99.3		
就 職 者	男	2	0.2	1	0.1	0	0	0	0	1	0.1		
	女	0	0.0	0	0	0	0	1	0.1	0	0		
就 職 ・ 進 学 者	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	1	0.1		
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0		
各 種 学 校 等	男	10	1.1	7	0.8	8	0.9	3	0.3	5	0.5		
	女	5	0.6	3	0.4	8	0.9	1	0.1	1	0.1		
そ の 他	男	6	0.6	4	0.4	6	0.7	5	0.6	7	0.7		
	女	7	0.8	2	0.2	5	0.5	1	0.1	6	0.6		

9. 日本スポーツ振興センター

(1) 掛金等の状況

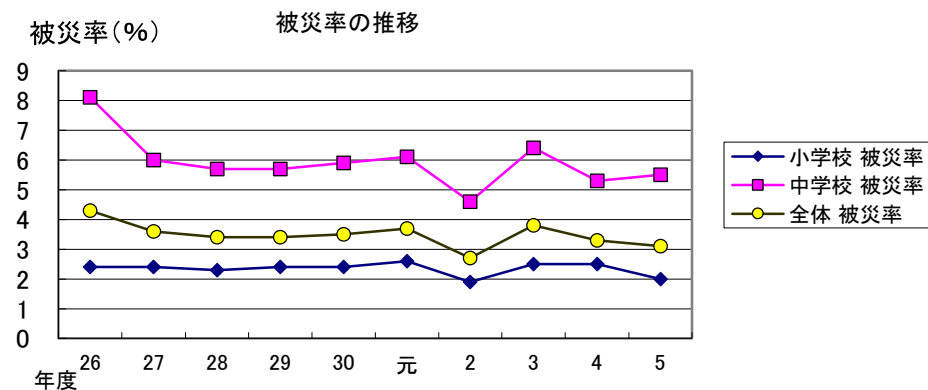
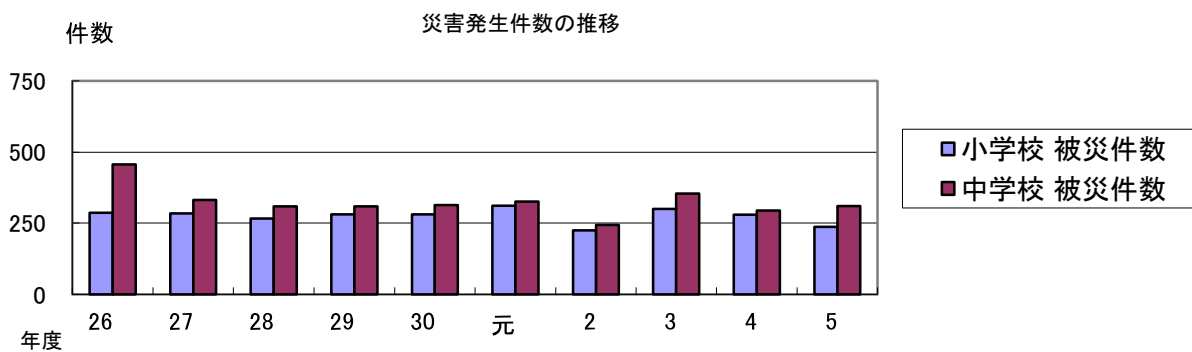
年 度	掛 金	給 付 金	受 給 率	備 考
26	15,488,960	10,317,541	66.6	
27	15,507,705	8,631,574	55.7	
28	15,475,475	8,182,016	52.9	
29	15,547,420	8,881,465	57.1	
30	15,586,715	8,331,086	53.4	
令和 元	15,360,555	7,735,899	50.4	
2	15,810,275	6,350,739	40.2	
3	15,901,505	10,513,611	66.1	
4	16,123,415	6,589,280	41.0	
5	16,204,155	24,534,542	151.4	

掛金等の推移



(2) 災害発生状況

区分 内 訳	小 学 校			中 学 校			合 計		
	加入者数	被災件数	被災率	加入者数	被災件数	被災率	加入者数	被災件数	被災率
26	11,504	286	2.5	5,587	457	8.2	17,091	743	4.3
27	11,628	284	2.4	5,517	332	6.0	17,145	616	3.6
28	11,618	266	2.3	5,467	309	5.7	17,085	575	3.4
29	11,729	280	2.4	5,432	309	5.7	17,161	589	3.4
30	11,880	280	2.4	5,305	313	5.9	17,185	593	3.5
令和 元	11,799	311	2.6	5,338	327	6.1	17,137	638	3.7
2	11,926	224	1.9	5,359	244	4.6	17,285	468	2.7
3	11,777	300	2.5	5,571	355	6.4	17,348	655	3.8
4	11,797	279	2.4	5,600	294	5.3	17,397	573	3.3
5	11,778	237	2.0	5,669	310	5.5	17,447	547	3.1



10. 就学援助及び特別支援教育就学奨励

(1) 就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して援助を行います。

〈就学援助費支給状況〉

令和5年度（単位：円）

内訳	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
給 食 費	1,893	85,948,451	922	46,148,299	2,815	132,096,750
学用品費・通学用品費・校外活動費等	1,904	28,044,620	957	24,136,710	2,861	52,181,330
新入学児童生徒学用品費	106	5,730,360	303	3,189,000	409	8,919,360
修学旅行費	338	6,742,568	289	17,551,120	627	24,293,688
通 学 費	0	0	2	205,160	2	205,160
体育実技用具費	0	0	0	0	0	0
宿泊を伴う校外活動費	309	1,140,210	273	1,826,978	582	2,967,188
入学準備金	568	33,879,780			568	33,879,780
医 療 費	0	0	0	0	0	0
めがね購入費	140	1,897,310	116	1,540,280	256	3,437,590

(2) 特別支援教育就学奨励

大和市の小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して経済的負担を軽減するため行います。

〈特別支援教育就学奨励費支給状況〉

令和5年度（単位：円）

内訳	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
給 食 費	266	6,215,447	73	1,826,070	339	8,041,517
学用品費・通学用品費・校外活動費	269	1,539,465	69	675,618	338	2,215,083
新入学児童生徒学用品費	50	1,213,667	27	706,036	77	1,919,703
修学旅行費	38	361,239	21	606,060	59	967,299
宿泊を伴う校外活動費	43	78,850	24	74,111	67	152,961
交流及び共同学習費	0	0	0	0	0	0
職場実習費	0	0	0	0	0	0
通 学 費	21	22,400	8	16,350	29	38,750
体育実技用具費	0	0	0	0	0	0

11. 学校給食

学校給食は、食事を通じ、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、正しい食事のマナーや栄養のとり方、望ましい食習慣を養い、感謝の気持ちを持って食べる態度を育てることを目標として実施しています。

大和市における学校給食は、昭和34年に市立林間小学校で主食と牛乳（脱脂粉乳）とおかずによる完全給食が実施され、単独調理校として始まりました。

現在では、3ヶ所の共同調理場と8ヶ所の単独調理校で大和市立小・中学校の完全給食を実施しています。

また、日本型食生活が見直されている中で、米飯給食を昭和57年4月から週1回実施し、その後、昭和63年4月から週2回に増え、平成22年6月より週4回の米飯の提供を実施しています。さらに、平成12年から自校・場で炊飯を開始し、現在は年16回実施しています。また、給食環境整備の一環として、ランチルームを設置（現在4校）するほか、平成22年4月より、食器材質をアルマイトから樹脂製食器に変え、先割れスプーンを廃止し、箸を導入したことで、より充実した食環境となりました。

平成25年4月には「大和市学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を作成、給食費の飲用牛乳アレルギー返金を開始しました。また、平成26年4月からは第3子以降学校給食費助成事業を行っています。

また、食材料費の物価高騰分について、令和4年10月～令和6年3月分までは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を、令和6年4月分以降は物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用し、小中学校に対して補助金を交付しています。

(1) 調理方式別による学校数（令和6年5月1日現在）

① 単独調理校	小学校	8校
② 共同調理場受入校	小学校	11校
	中学校	9校

(2) 学校給食の内容

① 沿革（完全給食開始年月日）

開始年月	学校名	開始年月	学校名
昭和34年2月	※林間小学校	昭和38年2月	桜丘小学校
〃 36年1月	大和小学校	〃 42年5月	西鶴間小学校
〃 37年2月	北大和小学校	〃 48年4月	※北部共同調理場
〃 37年2月	草柳小学校	〃 51年9月	南部共同調理場
〃 37年2月	深見小学校	〃 55年9月	中部共同調理場
〃 38年2月	渋谷小学校		

※ 林間小学校で市内小学校最初の完全給食を実施。

※ 北部共同調理場で市内中学校最初の完全給食を実施。

② 給食内容

学校給食に供する食物は、パン・米飯・牛乳・おかずの組み合わせによる献立を1食分とし、児童・生徒の栄養がみたされるように工夫されています。

A 学校給食における食事内容…………… 別表 1

B 給食費及び給食単価（令和 6 年度分）

小学校 4,260 円×11 ヶ月÷191 回=245 円

中学校 4,740 円×11 ヶ月÷186 回=280 円

※令和 4 年 10 月から学校給食食材料費補助金を助成しています。

（令和 6 年 4 月～10 月は、1 食当たり小学校 37 円、中学校 57 円）

C 給食費の推移…………… 別表 2

別表 1 学校給食における食事内容

文部科学省基準（児童生徒 1 人 1 回当たりの学校給食摂取基準）

区 分	栄 養 量			
	児童（6 歳～7 歳）の場合	児童（8 歳～9 歳）の場合	児童（10 歳～11 歳）の場合	生徒（12 歳～14 歳）の場合
エ ネ ル ギ ー (kcal)	530	650	780	830
た ん ぱ く 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 13%～20%			
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 20%～30%			
ナトリウム（食塩相当量）（g）	1.5 未満	2 未満	2 未満	2.5 未満
カルシウム（mg）	290	350	360	450
マグネシウム（mg）	40	50	70	120
鉄（mg）	2	3	3.5	4.5
ビ タ ミ ン A (μ g RAE)	160	200	240	300
ビ タ ミ ン B1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビ タ ミ ン B2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビ タ ミ ン C (mg)	20	25	30	35
食 物 繊 維 (g)	4 以上	4.5 以上	5 以上	7 以上

（注）1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

亜 鉛……………児童（6～7 歳）2mg, 児童（8～9 歳）2mg, 児童（10～11 歳）2mg
生徒（12～14 歳）3mg

2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

3 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

別表 2 給食費の推移

年 度	給 食 費	年 度	給 食 費	年 度	給 食 費
昭和 34	(小) 360 円	49 ～ 50	(小) 2,000 円	4～	(小) 3,500 円
37	(小) 450 円		(中) 2,300 円		9
38～39	(小) 500 円	51 ～ 52	(小) 2,400 円	10～	
40～41	(小) 650 円		(中) 2,800 円		20
42～44	(小) 750 円	53 ～ 54	(小) 2,600 円	21～	
45	(小) 900 円		(中) 3,000 円		23
46	(小) 1,100 円	55 ～ 56	(小) 2,800 円	24～	
47	(小) 1,250 円		(中) 3,200 円		25
48	(小) 1,500 円	57～ 平成 3	(小) 3,100 円	26～	
	(中) 1,500 円		(中) 3,600 円		(中) 4,740 円

※平成 24 年度は提供回数増に伴う改定。※平成 26 年度は消費税増税に伴う改定。

③ 献立の作成方法

献立は、1ヶ月ずつ市内統一献立が作成され、各校・場で実施されています。作成時には、栄養面・経済面・衛生面・作業面・地域面・嗜好面を考慮し、児童・生徒にあった献立を考えています。

④ 物資の購入方法

物資の購入にあたっては、給食用物資の適正な納入を図ることを目的として、運営されている物資選定委員会があり、この会は、学校長・場長・給食担当教諭・栄養教諭・栄養士・教育委員会の各代表により構成され、年6回開催されています。

(3) 単独調理校

単独調理校は、小学校のみ8校です。各学校では、学校長始め、給食担当教諭・栄養教諭・栄養士・給食調理員が協力して給食の充実を図っています。

(4) 学校給食共同調理場

共同調理場は現在、北部学校給食共同調理場・中部学校給食共同調理場・南部学校給食共同調理場の3調理場で受入校（小学校11校、中学校9校）の給食を提供しています。

各共同調理場は場長・栄養士が中心となり、調理・配送業務等は民間業者に委託して、給食の充実を図っています。

* 大和市学校給食共同調理場運営協議会

運営協議会は、調理場の運営に関する重要な事項について審議し、又調査研究を行い助言することを目的に設置され、小中学校長・PTA・学識経験者等、12人の委員で組織されています。

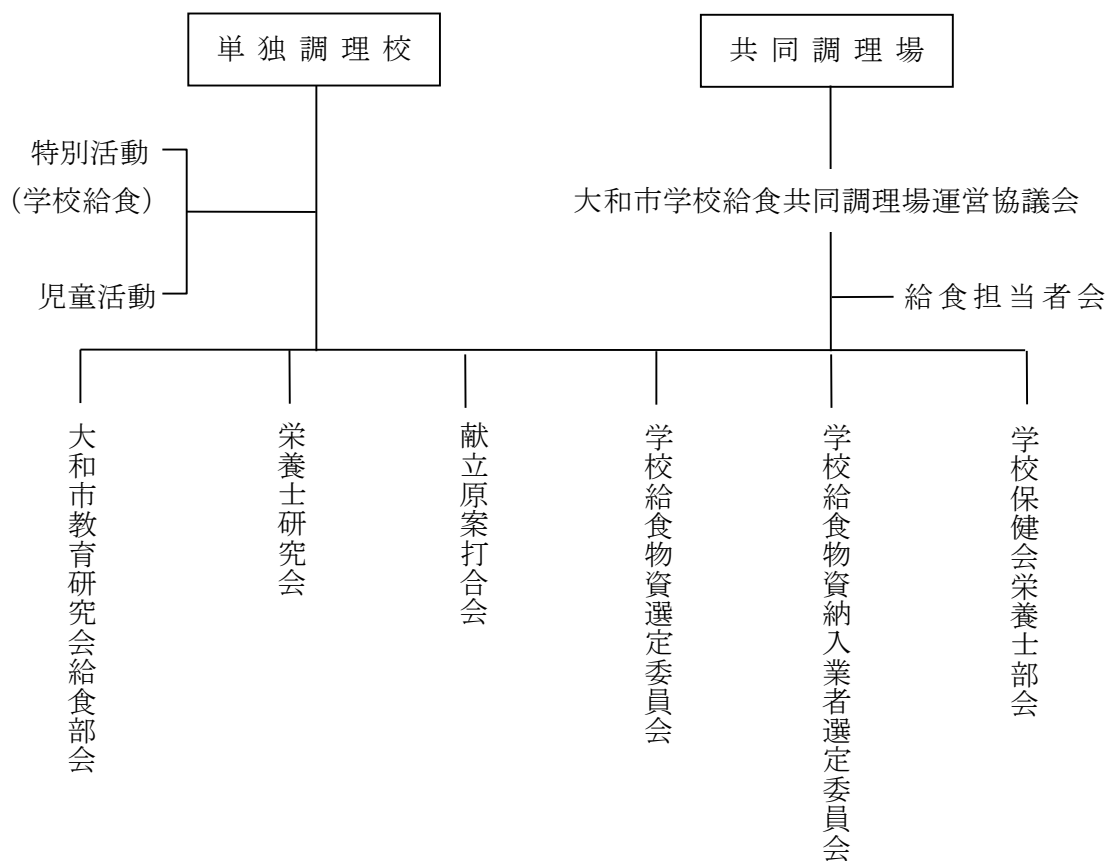
(5) 職員構成

令和6年5月1日現在

学校・調理場名	職 種	場 長	栄 養 教 諭 又は栄養士	調 理 員	補 助 員	合 計
北部調理場		1	2	※ 25	※ 23	51
中部調理場		1	2	※ 29	※ 22	54
南部調理場		1	2	※ 28	※ 29	60
北大和小		—	1	※ 6	※ 12	19
林間小		—	1	※ 5	※ 9	15
大和小		—	1	※ 5	※ 8	14
草柳小		—	1	4	3	8
深見小		—	1	4	4	9
桜丘小		—	1	※ 5	※ 6	12
渋谷小		—	1	※ 4	※ 6	11
西鶴間小		—	1	※ 4	※ 8	13
合 計		3	14	119	130	266

- ※ (1) 調理場の調理員には、総務主任・業務主任・調理師・調理員・ボイラー作業員・配送員・庁務作業員を含み、委託業者です。
- (2) 調理場の補助員は、洗浄パート・受入校配膳員で委託業者です。
- (3) 北大和小・林間小・大和小・桜丘小・渋谷小・西鶴間小の調理員・補助員は、委託業者です。

(6) 学校給食運営組織図



(7) 食 数

〈单独調理校〉

〈調理場受入校〉

令和6年5月1日現在

学校名	食 数
北大和小	1,197
林間小	1,132
大和小	888
草柳小	400
深見小	574
桜丘小	517
渋谷小	682
西鶴間小	773
合 計	6,163

調理場名	食 数				受 入 校 名
北部調理場	小	2,136	計	4,037	中央林間小 大野原小 文ヶ岡小 大和中 つきみ野中 (計5校)
	中	1,901			
中部調理場	小	2,072	計	4,410	緑野小 柳橋小 南林間小 南林間中 光丘中 鶴間中 (計6校)
	中	2,338			
南部調理場	小	2,362	計	4,150	上和田小 福田小 下福田小 大和東小 引地台小 引地台中 渋谷中 上和田中 下福田中 (計9校)
	中	1,788			
合 計	小	6,570	計	12,597	(受入校全 20校)
	中	6,027			

(8) 学校給食優良校

学校給食優良校等は、国や県において給食の管理運営体制の充実、指導状況、衛生管理、地域との関連等給食全般について総合的な審査が行われ、優秀と認められた学校・調理場に対して表彰されるものです。

年 度	神奈川県表彰	文部科学大臣表彰
昭和 44	大 和 小	—
45	草 柳 小	—
54	緑 野 小	—
59	深 見 小	緑 野 小
平成 8	大 和 小	—
12	中部調理場	—
16	林 間 小	—
17	—	林 間 小
18	深 見 小	

12. 教育研究所

教育研究所は、教育の研究調査、教育活動の支援、教育情報の発信・提供、教育に関する図書・資料の収集及び貸出し、児童生徒の学習資料の刊行、教育関係職員・市民の教育研修、研究調査成果の発表及び紀要の出版、市域の教育史料の収集と刊行、教育の情報化の推進、理科教育・環境教育・総合的な学習の時間の推進などの事業を行っています。

本市教育の実態を把握し、当面する教育課題の解決に資するとともに、予測困難な社会を切り拓く子どもたちに必要な「生きる力」をはぐくむことを視野に入れ、教職員の資質・能力の向上や学校の教育力を高める研修の充実、教育の情報化のための環境整備、理数教育充実のための環境整備など、教育研究所の果たすべき役割も増えています。

(1) 調査研究事業

教育に関する基礎的・専門的な分野及び学校教育の場における今日的教育課題について、調査研究を行います。その成果は刊行物、研修並びに教育研究所発表会などを通して本市の教育に反映させます。

① 最近5年間の調査研究

調査研究	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1. 情報教育	(情報モラル教育)		(端末活用)		(情報活用能力)
2. 教育意識	(保護者・市民の教育意識)				
3. 理科教育	(小学理科教育現状と課題)	(授業と評価)		(デジタル教材)	
4. 地域教材		(副読本「大和」)		(副読本「大和」活用事例集)	(副読本「やまと」)
5. 教育課題	(教育課程)				

② 令和5年度に実施した調査研究

研究部会・研究期間	指導担当講師・研究員	研究内容
授業力向上に関する調査研究部会 (令和5～6年度)	和光大学名誉教授 中田 朝夫 氏 小学校教員11人 中学校教員3人	今日的な教育課題である「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の実現のために、授業力を高めるための理論や具体的な手法の調査研究を行います。
地域教材に関する調査研究部会 (令和5～6年度)	元市立中学校長 小川 輝夫 氏 小学校教員5人	地域のことを学ぶことができる小学校社会科副読本「やまと」の改訂版を作成するため、地域素材についての調査研究を行います。
理科教育に関する調査研究部会 (令和4～5年度)	総合教育センター指導主事 佐藤 竜也 氏 小学校教員3人 中学校教員2人	大和市独自の学びのポータルサイト「学BOX」を効果的に活用し、市全体のデジタル教材開発の活性化に寄与する研究を行います。
教育の情報化に関する調査研究部会 (令和5～6年度)	放送大学 客員教授 佐藤 幸江 氏 小学校教員3人 中学校教員2人	全ての学習の基盤となる情報活用能力の体系的な育成を図るため、ICT機器を効果的に活用した指導方法やカリキュラムマネジメントの在り方に関する調査研究を行います。

(2) 研修事業

今日の社会的状況及び校内の教職員の年代構成を踏まえ、“学びつづける教職員”の実現を目指し、人格的資質・課題解決力・授業力など、教職員の資質・能力の向上や学校の教育力を高める研修の充実を図ります。

教職員の専門的資質・能力の向上を目指して、次の4つの柱からなる研修事業を行います。また、市民にも研修の機会を提供します。

- 専門領域の深化や視野の拡大を図る理論研修
- 指導技術の向上を目指す実技・実習研修
- 学校・家庭・地域における教育の今日的課題についての研修
- 教育の専門性や個性・特技を伸ばす研修

●令和5年度の研修事業

① 人格的資質向上研修講座（年間2回）

豊かな人間性と社会性及び対人関係能力を培い、人格的資質の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【ホスピタリティ】 信頼感・安心感が生まれる人間関係づくり ～「ホスピタリティ」を学校で生かそう～	6月19日 (月)	ホスピタリティコーディネーター 朝岡 万吏江 氏	26人
2	【人権教育】 *市民公開 地域も学校も多文化共生 ～日本にいる難民のはなし～	8月3日 (木)	認定NPO法人 難民支援協会（JAR） 鶴木 由美子 氏	26人

② 課題解決力向上研修講座（年間4回）

子どもや社会の変化によるさまざまな教育課題について学び、課題解決力の向上を図る講座です。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【教育社会学】 学校の学びはどう変わるべきか ～コロナ禍から見た教育の諸課題～	7月24日 (月)	東京大学大学院 教授 本田 由紀 氏	40人
2	【健康・安全教育】 *市民公開 子どもの「安全力」をはぐくむ安全教育 ～災害・事件・事故から子どもたちを守るために～	7月25日 (火)	NPO法人 日本子どもの安全 教育総合研究所 理事長 宮田 美恵子 氏	37人
3	【不登校支援】 不登校の解き方を考える ～キャリア教育としての不登校支援～	8月2日 (水)	神奈川県教育委員会教育局支援 部子ども教育支援課SSWSV 渡邊 香子 氏	48人
4	【インクルーシブ教育】 インクルーシブな教育と社会へ ～誰も置き去りにしない共生社会の在り方を目指して～	8月22日 (火)	東京大学教育学研究科附属バリア フリー教育開発研究センター長 小国 喜弘 氏	39人

③ 授業力向上研修講座（年間4回）

教科教育等にかかわる基礎的・専門的知識及び技能について学び、指導技術の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【授業づくり】 子どもと創る授業 ～確かな「人間性の育成」を求めて～	7月21日 (金)	南砺市教育長（富山大学名誉教 授） 松本 謙一 氏	45人
2	【探究型授業】 探究的な学びを支える情報活用能力 ～演習を通して学ぶ、子どもへの指導方法～	7月28日 (金)	放送大学 客員准教授 塩谷 京子 氏	18人

3	【国語科】 I C T活用で創る国語科の授業	8月1日 (火)	筑波大学附属小学校 教諭 青山 由紀 氏	59人
4	【端末を活用した授業：小学校 算数科】 1人1台環境を生かした授業づくり ～新しい学びの実現を目指して～	10月26日 (木)	放送大学 客員教授 佐藤 幸江 氏	47人

④ 特別講座 (年間1回)

社会福祉施設等での体験を通して、幅広い視野からものの見方を体得し、社会人・教育公務員としての自覚の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	参加
1	【社会体験研修】 ■事前打合せ1回 ■体験研修 (実習2日間) 大和市立図書館・小川農園 大和市立渋谷図書館 大和市立中央林間図書館 イベント観光課	5月22日 (月) 7月24日 (月)～25日 (火) 8月2日 (水)～3日 (木) 8月3日 (木)～4日 (金) 8月26日 (土)～27日 (日)	19人

⑤ 教育講演会 (年間1回) *市民公開

教職員・保護者・市民が教育について学び、地域・家庭との連携を深めました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	言葉がけひとつで子どもは変わる！ ～子どもがぐんぐん伸びる関わり方～ *オンライン開催	1月26日 (金)	こどもコンサルタント 原坂 一郎 氏	34人

⑥ 発表会 (年間2回) *市民公開

調査研究及び実践力向上研修の概要を発表し、その成果を本市教育に反映する目的で実施します。

No.	研修内容	月日	参加
1	【大和市教育研究所研究発表会】【特別講座】 第一部 大和市教育研究所研究発表会 ■地域教材(地域教材に関する調査研究部会) ■情報教育(教育の情報化に関する調査研究部会) 第二部 特別講座「平和とは何か ～戦争の記憶～」	8月17日 (木)	50人
2	【実践力向上研修部会発表会】【特別講座】 第一部 実践力向上研修部会発表会 ■学力向上に関する発表 (学力向上部会) ■特別支援教育に関する発表 (特別支援教育部会) ■不登校に関する発表 (不登校部会) ■1人1台端末の活用に関する発表 (今日的教育課題部会) 第二部 特別講座「平和とは何か ～戦争の記憶～」	8月18日 (金)	52人

⑦ 理科教育研修講座（年間2回＋訪問研修）

環境教育や理科教育の考え方・指導法を研修するとともに、指導力の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【小学校理科観察・実験】 小学校理科の観察・実験の基礎	6月16日 (金)	県立青少年センター技師	18人
2	【理科実地研修】 江ノ島の自然観察	7月31日 (月)	菊池 久登 氏	15人
3	【理科訪問研修】 ・観察・実験器具の取り扱いの基礎 ・興味関心を高めるための教材づくり ・理科備品の整理についてなど	5月～3月	理科教育担当指導主事	計6回 実施

⑧ 情報教育研修講座（年間3回＋訪問研修）

教育の情報化に関する知識や技能を学び、校務や授業に活用する力の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【校務支援システム（C4th）保健管理機能研修】 校務支援システム（C4th）の保健管理機能説明	4月28日 (金)	インストラクター	3人
2	【1人1台端末活用】（中学校） 学校におけるICT活用	8月21日 (月)	インストラクター	13人
3	【1人1台端末活用】（小学校） 学校におけるICT活用	8月23日 (水)	インストラクター	24人
4	【校務支援システム（C4th）操作説明会】 校務支援システム（C4th）の新機能説明	11月24日 (金)	インストラクター	37人
5	【情報セキュリティ】 校内における情報セキュリティ対策について	1月5日 (金)	インストラクター	27人
6	【訪問研修】 1人1台端末の活用、プログラミング教育 等	6月～ 3月	情報教育担当指導主事 インストラクター	17回

(3) 教育の情報化に関する事業

小中学校における情報教育については、情報モラルをベースとした、情報を適切に活用できる「情報活用能力の育成」がより求められるようになりました。このことから、次のように基本方針を定め推進しました。

○小中学校の体系的な情報教育の推進に努めます。

教科等における学習目標の達成を目指す中で、児童生徒に「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、情報モラルなどの「情報社会に参画する態度」が育成されるよう、体系的な情報教育の推進に努めます。

○将来にわたって生かせる情報活用能力の基礎を育成します。

様々な情報や情報手段に慣れ親しみながら、主体的に情報を判断・活用し、社会の変化に柔軟に対応できる思考力・判断力・表現力を身につけた児童生徒の育成に努めます。

●令和5年度の事業

① 教育の情報化プロジェクト委員会

本市における教育の情報化に関する各種施策の実施状況について、報告及び意見交換を行いました。

構成	・小学校長会代表 ・情報教育調査研究部会代表	・中学校長会代表 ・ネットワークリーダー代表	・情報教育推進校代表 ・教育委員会代表
実施	1回/年	・報告及び意見交換（GIGAスクール構想について）	

② 校務支援システム推進委員会

校務支援システムの運用をより円滑にするため、手引きの一部修正について通知を行いました。

構成	・小学校長会代表 ・中学校教頭会代表 ・養護教諭代表 ・事務主事・主査代表	・中学校長会代表 ・小学校教務担当代表 ・中学校進路担当代表 ・教育委員会代表	・小学校教頭会代表 ・中学校教務担当代表 ・特別支援学級担当代表
実施	0回/年 (通知のみ)	「校務支援システム運用の手引き」一部修正に関する通知	

③ ネットワークリーダー会議

市内各学校での情報教育の推進について考え、情報交換、要望の集約、連絡・調整を行いました。各学校代表と教育委員会代表で構成します。

実施	3回/年	連絡：担当者の役割、導入機器、GIGAスクール構想について 児童生徒1人1台端末(Chromebook)の運用、管理について等
----	------	--

④ 教育の情報化推進校

教育の情報化の実践的研究を推進し、その成果を本市の教育に反映しています。

(委託期間2年間)

- 【研究内容】○情報教育（子どもたちの情報活用能力の育成）に関すること。
○教科指導における情報通信技術の活用（情報通信技術を効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実践等）に関すること。
○校務の情報化（教職員が情報通信技術を活用した情報共有によりきめ細やかな指導を行うことや、校務の負担軽減等）に関すること。

令和5・6年度 大和市立緑野小学校
研究テーマ 「すべての子どもたちの未来を切り開く確かな学びの実現をめざして ～一人一人の可能性を引き出すための手立て～」

⑤ 情報モラル教育支援事業

平成26年度より業者委託による事業を開始しました。各小中学校の実態を調査し、結果に合わせた指導方法の提示や対応を行います。

- 【支援内容】○教職員研修会開催
○保護者講習会開催
○授業支援
○ネットトラブル対応（直接対応・電話対応）

⑥ コンピュータ機器整備

情報教育の目的達成に寄与すべく、学習指導の改善・充実を目指して、小中学校に教育用コンピュータを設置し、情報教育を推進しています。

【コンピュータ整備状況（過去5年）】

	小学校	中学校
令和元年度 (2019年度)	◆988台 (リース R1.9.1～R6.8.31) PC教室用タブレット 44台×19校 836台 大規模校用タブレット 132台 44台×3校 北大和、林間、大和 PC教室管理用 19台 教育委員会用タブレット 1台 ◆148台 (リース R1.10.1～R6.9.30) 特別支援学級用タブレット(iPad) 148台 ◆42台 (リース H27.3.1～H32.2.29) 国際教室用タブレット 3台×14校 42台	◆188台 (リース R1.9.1～R6.8.31) 教室用タブレット 44台×3校 132台 普通教室プロジェクタ用PC 56台 ◆65台 (リース R1.10.1～R6.9.30) 特別支援学級用タブレット(iPad) 54台 特別支援センター用タブレット(iPad) 10台 教育委員会用タブレット(iPad) 1台 ◆295台 (リース R2.3.1～R7.2.28) 教室用タブレット 44台×6校 264台 国際教室用タブレット 3台×7校 21台 大和市立病院院内学級用タブレット 4台 教育支援教室用タブレット 6台
令和2年度 (2020年度)	◆14台 (リース R2.4.1～R7.3.31) 各校校務用PC 14台 ◆484台 (リース R2.9.1～R7.8.31) 各校校務用PC 484台 ◆6台 (リース R2.9.1～R7.8.31) ことばの教室用タブレット (iPad) 6台	◆13台 (リース R2.4.1～R7.3.31) 各校校務用PC 11台 特別支援センター用PC 2台 ◆5台 (リース R2.4.1～R7.3.31) 普通教室プロジェクタ用PC 5台 ◆55台 (リース R2.9.1～R7.8.31) 普通教室プロジェクタ用PC 55台 ◆67台 (リース R2.9.1～R7.8.31) 各校校務用PC 58台 院内学級用PC 1台 特別支援センター用PC 8台 ◆52台 (リース R2.12.1～R7.11.30) 普通教室プロジェクタ用PC 52台
	◆教育用端末機(Chromebook) 18,660台 (買取 R2.10～)	
令和3年度 (2021年度)	◆普通教室プロジェクタ用PC 3台 (リース R3.9.1～R8.8.31) ◆校務用PC 4台 (リース R3.9.1～R8.8.31) ◆教育用端末機(Chromebook) 248台 (買取 R4.3～)	
令和4年度 (2022年度)	◆校務用PC 359台 (リース R4.9.1～R9.8.31) ◆教育用端末機(Chromebook) 334台 (買取 R4.5～) ◆教育用端末機(Chromebook) 1,452台 (買取 R5.1～)	
令和5年度 (2023年度)	◆校務用PC 299台 (リース R5.9.1～R9.8.31) ◆教育用端末機(Chromebook) 832台 (買取 R5.11～)	
【令和6年3月31日現在】 ・教育用コンピュータ台数 22,696台 ・校務用コンピュータ台数 1,240台		

※令和2(2020)年度からGIGAスクール構想に基づく1人1台端末の整備となったことから、市教育委員会全体としての記載に変更。

⑦ プログラミング教育支援

小中学校におけるプログラミング教育について、児童生徒がプログラミングに触れることのできる環境の整備を行うとともに、児童生徒がプログラミングに触れる機会を設定します。

【放課後寺子屋プログラミング教室 (実施会場 全市立小中学校 PC教室 等)】

開催時間	対象・人数	内容
授業終了後～16:45 (冬季は16:15)	小学校1～6年生 定員20人	PCの基本的な操作方法を学ぶ。 Scratchを用いて、基本的なプログラミングの手法を学ぶ。 Studuinoを用いて、ロボットを利用した発展的なプログラミングを学ぶ(2～6年生)。
授業終了後～16:50	中学校1～3年生 定員20人	タイピング。 Scratchを用いて、基本的なプログラミングの手法を学ぶ。 Studuinoを用いて、ロボットを利用した発展的なプログラミングを学ぶ。

*一年間を通して各小学校では13回実施、各中学校では8回実施

(4) 理科・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業

「生きる力」の育成を目指した授業を支援するために、理科教育・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業の推進を図ります。調査研究・研修講座の充実を図るとともに、授業支援を行っています。

① 理科教育機器の整備・貸出し

学習指導要領に対応し、理科備品の整備拡充を図り、理科教育の充実のために機器の貸出しを行っています。

【令和5年度の理科教育機器の貸出し】

内 容
デジタル気体検知器(1) ブルーシート(3) ラミネータ(1) ソーラークッカー(1) 昆虫標本(9) スモークマシン(2) 地層シート(3) 液体窒素保存容器(1) ジュワー瓶(1)

② 理科教育の相談・支援

観察・実験上での指導に関すること、教材研究や教材提供、理科におけるレファレンスサービスを行っています。

【令和5年度の相談・支援】

相談項目	主な相談内容	件数
教材提供	・生物教材提供(微小生物6種)	14件
教材研究	・地層観察について ・自校ボーリング資料の教材としての扱い方について	2件
教育相談	・薬品管理台帳の記載方法について ・廃液の出し方や保管方法について ・混合廃液について ・薬品監査について	8件

③ 環境教育の相談・支援

環境教育推進のための機器の貸出し、教材研究や教材作成の相談を受け付けます。

④ 薬品廃液処理

理科学習時の廃液等を回収し、適切に処理しています。

【令和5年度の薬品廃液処理】

産業廃棄物の種類	数量(kg)	処理方法	備考
特別管理廃酸(廃試薬、有害以外の金属含有)	11.486	中和	

特別管理廃酸（廃試薬）	4.175	中和	
特別管理廃アルカリ（廃試薬、有害以外の金属含有）	2.330	中和	
特別管理廃アルカリ（廃試薬）	6.030	中和	
特別管理廃油	33.776	焼却	
廃酸	1.875	焼却	
汚泥（廃試薬）	5.044	焼却	
廃油（廃試薬）	0.655	焼却	

⑤ 「子ども科学教室」の開催

児童生徒の科学的な考え方や創造力の育成を目的に行っています。

【令和5年度の子ども科学教室】

回	テーマ	月 日	会 場	講 師	参加
1	ホバークラフトを作ろう	9月2日(土)	桜丘学習センター 301集会室	科学探検隊	24人
2	鉱石を磨こう	9月30日(土)	桜丘学習センター 103研修室	教育研究所指導主事	15人
3	ラジオをつくろう	10月28日(土)	生涯学習センター 610大会議室	神奈川県電波適正 利用推進員協議会	16人

プチロボの製作・競技を行い、科学技術発展の裾野を広げます。（県立青少年センターと共催）

	テーマ	月 日	会 場	講 師	参加
1	プチロボで競走しよう (大和大会)	12月2日(土)	桜丘学習センター 301集会室	県立青少年センター 技師	24人

⑥ 「夏のおもしろ科学館 2023」の開催

内 容 観察実験・ものづくりブースの出展

日 時 8月5日(土) 会 場 文化創造拠点シリウス 3階 マルチスペース
1階 ギャラリー
参加人数 130人

⑦ 「冬のおもしろ科学館 2023」の開催

内 容 観察実験・ものづくりブースの出展

日 時 12月9日(土) 会 場 桜ヶ丘学習センター 301、103、104他
参加者数 103人

⑧ 総合的な学習の時間等の情報提供

総合的な学習の時間の支援のため、教材研究や教材作成の相談の受付や、各学校における授業実践等への情報提供を行っています。

(5) 教育資料に関する事業

児童生徒の学習効果の向上や学校や教職員等の教育研究、教育実践に資するために、教育資料を刊行するとともに、教育情報誌及び教育研究資料を収集・整理し、教職員に閲覧・貸出しを行っています。

① 教育資料の刊行

【令和5年度の刊行物】

	刊 行 物	対 象	発行部数
1	教育研究所要覧	小中学校教職員・関係機関	450
2	ビジュアル版 大和の教育	小中学校教職員・関係機関・市民	71,500
3	まなびやまと(Web版)	小中学校教職員・関係機関・市民	Web掲載
4	こども版 まなびやまと	小中学校児童生徒・教職員・関係機関	19,500
5	所報(3回)	小中学校教職員・関係機関	4,650
6	小学校社会科副読本「やまと」	小学校3年生	2,200
7	中学校社会科副読本「大和」	中学校1年生	2,200
8	小学校理科副読本「大和の自然」	小学校3年生	2,200
9	中学校社会科副読本「大和」－活用事例集－	小中学校教職員・関係機関	200

【令和5年度発行の教育情報誌の内容】

情報紙	発行日	内 容
令和5年度 ビジュアル版 「大和の教育」	6月1日	巻頭言「コロナの3年間を超えて」(教育長) 「GIGAスクール構想に基づき、ICT活用の取組を更に充実させていきます」 (教育研究所) 「児童生徒の読書活動や学習環境を支えます」(指導室) 「『スタディサプリ』の活用を進めています」(指導室) 「充実した支援体制を整え、相談活動の推進に努めます」(青少年相談室) 「大和市のトイレ改革を進めます」(教育総務課) 「フォーラム・イベントにご参加ください」 「お知らせします」
所 報 第136号	7月15日	特別寄稿 「今求められる授業改善 ～個別最適な学びと協働的な学びを一体化した授業づくり～」 (和光大学 名誉教授 中田 朝夫) 「令和4年度 地域教材に関する調査研究部会成果」 「令和3～令和4年度 教育の情報化に関する調査研究部会成果」 「令和5年度調査研究部会紹介」 「2年目を迎えて」(令和5年度2年次教職員) 「個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業づくり ～理科『発電と電気の利用』(小6年)より～」
こども版 まなびやまと No.8	10月	「笑顔はじける！」 ・写真掲載(深見小学校、西鶴間小学校、中央林間小学校、文ヶ岡小学 校、引地台小学校、南林間中学校、つきみ野中学校、下福田中学校) 「子どもたちが主役！ 学校行事が再開！」 ・児童会全校集会(西鶴間小学校) ・体カテスト(文ヶ岡小学校) ・にじいろ活動(引地台小学校) ・「待ってました 運動会開催！(練習風景)」(つきみ野中学校、中 央林間小学校、北大和小学校) ・情報モラル教育(大和中学校) ・部活動壮行会(下福田中学校) 「おらが学校」 ・「児童自ら運営する福田小学校」(福田小学校) 「部活動紹介」

		・ 合唱部 (南林間中学校)
所報 第137号	12月15日	「特別講座『平和とは何か ～戦争の記憶～』に参加して——」 (大和市教育委員会教育長 柿本隆夫) 「夏季研修講座を振り返って」(教育研究所) 「教育研究所研究発表会」(教育研究所) 「実践力向上研修研修部会発表会」(教育研究所)
まなびやま No.37	3月	「生活科『町たんけん』 ～大和市役所本庁舎の見学～」(大野原小学校) 「自然薯掘り ～特例校の活動紹介～」(引地台中学校分教室) 「ブックバイキング ～子どもたちと本に親しむ取り組み～」(下福田小学校) 「タイピング練習 ～正しい姿勢で学ぼう～」(中央林間小学校) 「情報モラル教育 ～ネットとの上手な付き合い方～」(大和中学校) 「着衣泳 ～水難事故の対処方法を体験～」(引地台小学校) 「おらが学校 ～上中三大行事、駅伝大会～」(上和田中学校) 「あいさつ運動 ～自主的な取り組みから～」(北大和小学校) 「代表委員会 ～全校児童集会の運営～」(西鶴間小学校)
所報 第138号	3月15日	特別寄稿「最大の教育環境は教師自身なり」 (大和市立福田小学校長 星 あゆみ) 特別寄稿「楽しくなきゃ、学校じゃない！」 (大和市立南林間中学校長 四ノ宮 和仁) 〈大和市教育の情報化推進校〉の実践 「すべての子どもたちの未来を切り開く確かな学びの実現をめざして ～一人一人の可能性を引き出すための手立て～」(大和市立緑野小学校) 「教育講演会・冬のおもしろ科学館等」(教育研究所)

② 教育図書・資料の閲覧と貸出し

教育専門書のほか市内小中学校発行の研究集録をはじめ、他市・県等の教育情報を収集整理し、閲覧と貸出しを行っています。

【図書・教育資料の数】 (令和5年度末)

	登録数(冊)	前年度比
教育用図書	4,006	+ 0
教育資料・雑誌	4,813	+ 83
教科書類	5,269	+ 0
計	14,088	+ 83

【貸出し数】 (令和5年度末)

	冊数
教育用図書	0冊
教育資料・雑誌	16冊
教科書類	0冊
計	16冊

③ 教育史料の収集と整理

『新版神奈川大和教育史第一巻・第二巻』発刊後、引き続き、平成元年から現在までの大和市における教育史料の収集・整理を行い、大和平成教育史(年表編資料編)の発刊に向けて、史料の収集と体系化を継続します。

収集史料	学校関係、教育委員会関係、単位PTA関係、教育諸団体関係(教育研究会、学校保健会、PTA連絡協議会、校長会、教頭会、学校事務研究協議会、中学校体育連盟等)の組織・事業等
------	--

【令和5年度の教育史料の収集】

分類	収集冊数	分類	収集冊数
行政機関	15冊	教科書関係	0冊
学校関係	67冊	教育諸団体関係	1冊

13. 青少年相談室

(1) 青少年相談員の活動

青少年相談員は、青少年指導員・少年補導員・保護司・民生委員児童委員・中学校PTA役員・中学校教職員及び民間有志者などから教育委員会が依頼した40人で構成され、青少年の健全育成活動を行っています。

令和5年度の主な活動は、以下のとおりです。

月日	内容	場所	出席者
通年	地区別街頭補導・祭礼等特別補導・卒業式特別補導 1. 非行の行われやすい場所を重点的に巡回し、問題行動の早期発見と適切な助言指導を与えるために実施 2. 「大和阿波おどり」や地域の祭礼等にあわせ補導を実施 3. 市内公立中学校の卒業式にあわせ補導を実施 計 82 回実施	市内全域	延 625 人
5 月	「大和市民まつり」における啓発活動・特別補導 ○「大和市民まつり」に青少年相談員連絡協議会として出店し、「ケータイ」「スマホ」でのトラブルはルールやマナーを守ることで防げることを広く市民にアピールするために実施 ○会場を中心に特別補導を実施	引地台公園	延 21 人
6 月	依頼状交付式・総会・研修会 ○令和4年度事業報告及び決算報告、監査報告 ○令和5年度事業計画（案）及び予算（案） ○その他	青少年相談室	22 人
7 月	環境浄化活動 ○青少年に有害な立て看板・貼り紙等の撤去活動を、関係機関・関係団体の協力を得て実施	市内全域	14 人
7 月	社環境実態調査 ○県からの要請を受けて、市内のまんが喫茶、インターネットカフェ、コンビニエンスストア、ドラッグストア、カラオケボックス、書店等の状況を調査	市内全域	2 人
11 月	視察研修会 ○青少年の補導活動に携わるうえで、より高い見識を持ち、効果的な指導を行うため、視察研修を実施	久里浜少年院	21 人
10 月 11 月	市内公立中学校との情報交換会 ○各中学校の現状や学区内の状況などについて意見交換するために実施	各中学校	延 64 人

(2) 街頭補導の実施状況（令和5年度）

街頭補導実施回数 306回

従事者数 延べ967人

	合計	対象少年学校・職業別							措置別							
		未 学 就	児童・生徒・学生					有 職 少 年	無 職 少 年	・ そ の 他	セ ン タ ー 処 理	児 相 通 告	福 祉 通 告	警 察 ・ 保 護 セ ン タ ー 引 継	医 療 機 関 ・ 保 健 所 引 継	そ の 他
			小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	小 計									
怠学・怠業																
金品持出・金銭濫費																
不健全性的行為																
飲酒・喫煙	53 (16)		1	16 (5)	30 (11)		47 (16)	6		53 (16)						
不良交友																
遊技場出入																
不健全娯楽																
深夜はいかい																
刃物等所持																
粗暴行為																
金品不正要求																
家出・浮浪・無断外泊																
シンナー・薬物等乱用																
性的いたづら																
暴走行為等交通違反	237 (80)		21 (6)	44 (4)	168 (69)	2 (1)	235 (80)	2		237 (80)						
その他	18 (4)		3 (3)	12 (1)	3		18 (4)			18 (4)						
小計	308 (100)		25 (9)	72 (10)	201 (80)	2 (1)	300 (100)	8		308 (100)						
非行少年等																
犯罪少年																
触法少年																
ぐ犯少年																
要保護少年																
小計																
合計	308 (100)		25 (9)	72 (10)	201 (80)	2 (1)	300 (100)	8		308 (100)						

()内の数字は女子で内数

(3) 青少年相談室の活動

青少年や保護者等から電話・来室・メールなどの相談により、課題解消に向けた支援を行っています。市立小学校に教育相談員を派遣し、各学校での相談に対応しています。青少年相談室では青少年心理カウンセラーとスクールソーシャルワーカーが、相談に対応するとともに、学校や他機関との連携も図っています。また、青少年の健全育成のために街頭補導活動、有害看板撤去等の社会環境浄化活動も行っています。

不登校児童生徒支援を充実させるために、教育支援教室（まほろば教室）・令和4年度に開設された学びの多様な学校（大和市立引地台中学校分教室）を設置するとともに、市立小学校10校、中学校9校に不登校児童生徒支援員を派遣しています。なお、令和5年度の主な活動は、以下のとおりです。

月 日	主 な 活 動
6月 10月 1月	<p>児童・生徒指導支援研修会 3回実施</p> <p>○今日的な児童・生徒への指導支援の課題や方法を題材として、学校現場での実践へ繋げる。</p> <p>講師：①「パーソナリティ障害全般及び境界性パーソナリティ障害の対応について、その支援の考え方、リスクアセスメントについて」 神奈川県精神保健福祉センター 精神科医師 川本 絵理 氏</p> <p>②「児童・生徒指導支援における対応の1つとしての『解決志向ブリーフセラピー』について」 目白大学 教授 黒沢 幸子 氏</p> <p>③「セクシャルマイノリティの児童生徒支援について学ぶ」 特定非営利活動法人 SHIP 理事 星野 慎二 氏</p>
7月～ 8月	<p>青少年相談室夏季研修講座 3回実施</p> <p>①「子どもの『気になる』行動をどう見るか～その背景や対応を考える～」 講師：大和市青少年相談室 青少年心理カウンセラー 足立 亜利沙 氏</p> <p>②「子どもたちが安心して居られる学級づくり～まほろば教室や不登校特例校の実践から～」 講師：教育支援教室「まほろば教室」 専任教諭 柴崎 寛 氏 引地台中学校分教室 総括教諭 菊地 敬幸 氏</p> <p>③「スクールソーシャルワーカーの視点と方法によるケース支援」 講師：大和市青少年相談室 スクールソーシャルワーカー 大里 裕子 氏</p>
7月	<p>青少年健全育成講演会</p> <p>○青少年健全育成への理解の推進と市民への啓発を目的に開催</p> <p>講演：「不登校をどのように理解するかに基づいた子どもたちへのより良いかわり方」 講師：横浜市教育委員会 人権教育・児童生徒課 カウンセラー統括 公認心理師・臨床心理士 松坂 秀雄 氏</p>
7月～ 9月	<p>社会環境実態調査</p> <p>○インターネットカフェ、まんが喫茶、ドラッグストアコンビニエンスストア、ドラッグストア、カラオケボックス、書店等の状況を調査 (令和5年度 20店)</p>
6月～ 2月	<p>医療相談員（医師）による個別相談 5回実施</p> <p>○医療のアプローチが必要だと感じている保護者、教職員に対して、個別相談を実施 医療相談員：新井 卓 氏</p>
7月～ 1月	<p>登校を考える保護者会 3回実施</p> <p>○不登校児童生徒の保護者とともに、相互支援を図るために開催 講師：教育相談アドバイザー 小見 祐子 氏</p>
4月～ 1月	<p>不登校児童生徒支援員研修会 3回実施</p> <p>○不登校児童・生徒支援について研修を深め、情報交換などを通して不登校児童生徒援助事業の充実を図る 講師：教育相談アドバイザー 小見 祐子 氏</p>

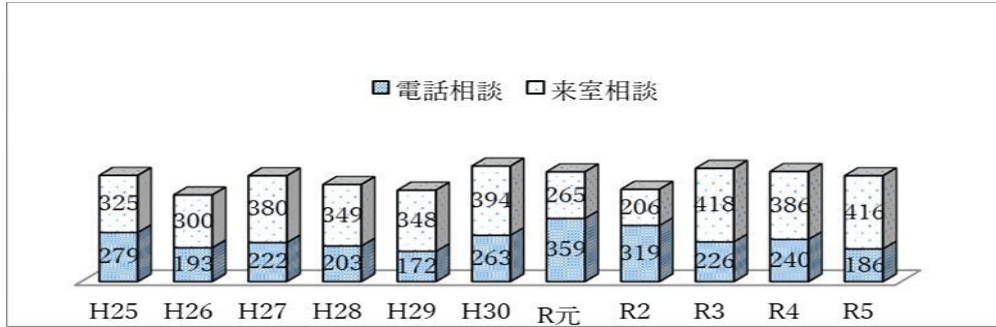
4月	児童・生徒支援連絡協議会 4回実施 ○中学校区を単位とした児童支援中核教諭・小中教育相談コーディネーター担当教諭による相互支援、教育相談アドバイザーの助言による、教育相談等、児童・生徒支援活動の充実 講師：教育相談アドバイザー 小見 祐子 氏
2月～ 3月	中学校教育相談コーディネーターと青少年相談室教育相談員の情報交換会 3回実施 ○次年度、中学校就学生徒についての情報交換 講師：教育相談アドバイザー 小見 祐子 氏
7月～ 2月	不登校対策連絡協議会 3回実施 ○不登校及び不登校傾向の児童・生徒への指導・支援方法についての情報交換 講師：教育支援教室「まほろば教室」職員 引地台中学校分教室職員 特別教育支援センター職員

(4) 青少年相談室の相談受理状況(電話相談・来室相談)

青少年自身の悩み、青少年が起こす問題行動に悩む保護者などからの相談を受け、その課題解消を支援します。

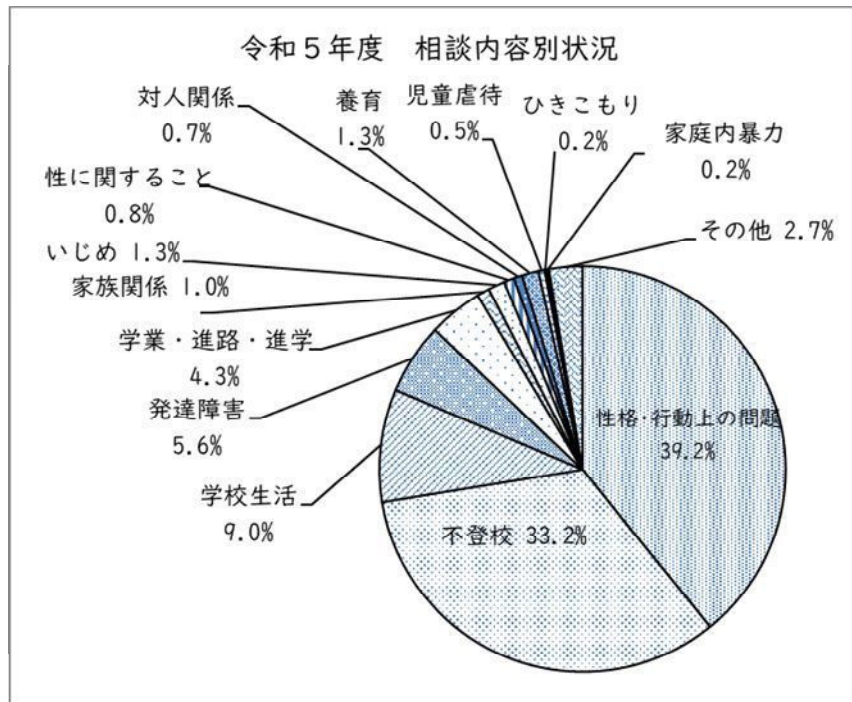
令和5年度の相談件数は、電話相談186件、来室相談416件、合計602件で、相談内容等は次のグラフのとおりです

相談件数の推移 (H25~R5)



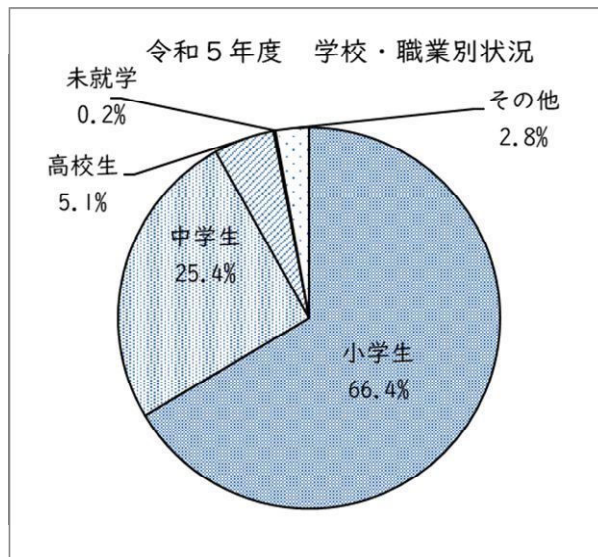
相談内容別状況

区分	4年度	5年度
性格・行動上の問題	265	236
不登校	145	200
学校生活	75	54
発達障害	35	34
学業・進路・進学	24	26
家族関係	19	6
いじめ	10	8
性に関すること	7	5
対人関係	7	4
養育	5	8
児童虐待	2	3
ひきこもり	2	1
虞犯・不良行為	1	0
犯罪触法行為	0	0
家庭内暴力	0	1
その他	29	16
計	626	602



学校・職業別状況

区分	4年度	5年度
小学生	387	400
中学生	160	153
高校生	54	31
未就学	0	1
その他	25	17
計	626	602



(5) 県費スクールカウンセラーの派遣と不登校児童生徒支援員の配置

① 県費スクールカウンセラーの派遣（各中学校に派遣）

学校における教育相談体制の充実を図るため、県からスクールカウンセラーが各中学校に派遣されています。スクールカウンセラーは、生徒や保護者への教育相談やカウンセリング、教職員へのコンサルテーション、外部機関と連携協力など生徒が有意義な学校生活を過ごせるよう支援しています。令和5年度の相談内容や相談者は次の通りです。

相談内容			相談者		
① 不登校	1,248 件	32.4%	① 中学1年	814 人	21.2%
② いじめ	55 件	1.4%	② 中学2年	507 人	13.2%
③ 暴力	3 件	0.1%	③ 中学3年	237 人	6.2%
④ 虐待	20 件	0.5%	④ 教職員	1,558 人	40.5%
⑤ 友人・異性関係	233 件	6.1%	⑤ 保護者	730 人	19.0%
⑥ 貧困	0 件	0.0%			
⑦ ヤングケアラー	13 件	0.3%			
⑧ 非行	55 件	1.4%			
⑨ 家庭環境（④⑥を除く）	393 件	10.2%			
⑩ 教職員との関係	71 件	1.8%			
⑪ 心身の健康・保健	745 件	19.4%			
⑫ 学業・進路	177 件	4.6%			
⑬ 発達	354 件	9.2%			
⑭ コロナウイルスに起因する相談	0 件	0%			
⑮ 性的マイノリティに係る相談	14 件	0.4%			
⑯ その他	465 件	12.1%			
合計 3,846 件（1校平均約 427 件）					

② 不登校児童生徒支援員の配置

不登校対策として、平成24年度より市立中学校に不登校生徒支援員を1名ずつ配置しており、平成29年度より市立小学校10校(平成29年度は8校)に不登校児童支援員を配置しています。不登校児童生徒支援員は、学校生活で配慮が必要な児童・生徒への学習支援や教育相談、家庭訪問などの支援を行っています。

(6) 教育支援教室「まほろば教室」

不登校児童生徒を対象に、相談活動、学習支援、人間関係づくりへの支援などを組織的・計画的に実施し、児童生徒の「生きる力」の伸長を目指し、「まほろば教室」を設置しています。

① 月別通室状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	11	18	20	20	13	26	26	30	29	34	36	38

○通室人数 52人

○通室児童生徒の学年内訳

小学校

2年 男子 1人 女子 1人
3年 男子 2人 女子 0人
4年 男子 4人 女子 2人
5年 男子 2人 女子 1人
6年 男子 3人 女子 2人

中学校

1年 男子 3人 女子 7人
2年 男子 4人 女子 9人
3年 男子 8人 女子 3人

保護者会・授業参観

	月日	内 容
1	5～2月	まほろば保護者会 5回 (延 20人参加) 【5/12 7/14 10/20 12/22 2/22】
2	8～12月	おたのしみ会 2回 (延 21人参加) 【8/25 12/27】
3	8月2日	卒業生のお話を聴く会 1回 (8人参加)
4	1月30日	百人一首大会 (5人参加) ※新型コロナウイルス感染防止のため保護者参観なしで実施
5	3月18日	旅立ちの会 (19人参加)
6	7～8月	保護者面談 (希望制 7人参加)

② 通室児童生徒の担任と相談室との情報交換

	月日	内 容
1	7～8月	7月までの情報交換と9月からの方向性について協議
2	12～1月	1、2年生：学校復帰に向けた情報交換 3年生：進学、卒業に向けた情報交換
3	3月	進級時期を迎えるにあたっての情報交換

(7) 引地台中学校分教室

不登校生徒を対象に、「一人ひとりの児童生徒の社会的自立を目指す」ための学習機会を保障し、より多様な学び場としての新たな選択肢の一つとして設置しています。

①入室状況

○入室人数 21人 (令和6年3月末現在)

○入室生徒の学年内訳

中学校

1年 男子 2人 女子 6人
2年 男子 1人 女子 3人
3年 男子 4人 女子 5人

○通室生徒の卒業や進級状況

卒業…………… 9人

進級…………… 12人

②年間行事

4月	・保護者説明会 ・個別相談会 ・オープニングセレモニー・引地川散歩 ・たけのこほり
5月	・大人の登校日 (料理教室)
6月	・引き渡し訓練 ・引地川生物観察 ・進路保護者会
7月	・三者面談 ・一学期終業式
8月	・二学期始業式 ・体験活動 (流しそうめん)
9月	・校外宿泊学習 (自然観察) ・大人の登校日 (料理教室)
10月	・三年生進路三者面談 ・竹林間伐
11月	・竹林間伐 ・大人の登校日 (陶芸①)
12月	・竹林間伐 ・三者面談 ・大人の登校日 (陶芸②)
1月	・竹林間伐 ・三学期始業式 ・餅つき大会
2月	・竹林間伐
3月	・卒業セレモニー ・三学期終了式 ・一、二年生三者面談